

1

2002年

組合広報

NO. 421

よろこばれ 期待され 魅力ある

東京都鍍金工業組合  
東京鍍金公害防止協同組合

<b>年頭挨拶</b>	光と影、今、新たな決意で	理事長 <b>大村功作</b>	1
	<b>各支部新年のページ</b>		2
<b>年頭所感</b>	組合員の一致団結を	常任理事 <b>半田 實</b>	14
	日本の技術を生かして	城西支部長 <b>元井民夫</b>	15
	強力な支部事業活動を	大田支部長 <b>志田和陽</b>	16
	役立つ事業活動を	連合青年部会長 <b>溝口昌範</b>	17
	効率化を目指し	城東青年部会長 <b>遠藤典夫</b>	18
	プラス指向で明るい年に	城南青年部会長 <b>坂手保弘</b>	19
	魔法の薬	向島若葉会長 <b>深田 稔</b>	20
	従来型から次世代型へ	西部五月会長 <b>柴 太</b>	21
	時代の変わり目	十日会会長 <b>仲俣雅行</b>	22
<b>予定表</b>	2月の環研・協組集荷日程ほか		23
	東京のものづくりに思う	<b>石川進造</b> (株ヒキフネ)	24
	新春理事長対談「今年の組合運営について」		26
	理事長日誌、組合・関連団体行事予定		30
	組合ホームページをリニューアルいたしました		31
	めっき技能検定受検案内		32
	中国・深圳・東莞視察団参加者募集		33
	訓練校第33期訓練生募集		34
	訓練校2月授業案内		
	亜鉛部会研究会・懇親会		36
	十日会忘年会		37
	新年名刺広告		38
<b>ピックアップ</b>	プラとの摩擦軽減処理法開発他		48
<b>支部シリーズ</b>	城北支部の巻「日暮里繊維街はしっかり生き抜いている」		50
<b>支部通信</b>	足立支部、足立鍍友会、中央支部		53
	協組・環研ニュース 55		

## 2月 あなたの予定表

日	曜	役員会・委員会他	環研集荷(ブロック長)	協 組 集 荷	メ モ
1	金				
2	土	訓練校技能照査実技			城南連合支部新年会
3	日				
4	月	監事会、広報委員会	大田支部	城東支部	
5	火	環境委員会		城北支部	
6	水	正副理事長会、理事会	品川支部・大田支部	中央支部	
7	木			世田谷・目黒地区	
8	金		城南支部	葛飾支部	
9	土				
10	日				
11	月				
12	火	訓練校技能照査学科	城西支部	足立支部	
13	水		城西支部・城北支部	西部支部	
14	木				
15	金		中央支部・本所支部	葛飾支部	
16	土				
17	日				
18	月			品川地区	
19	火		向島支部	向島支部	
20	水			本所支部	
21	木		西部支部	蒲田・大森地区	
22	金		城東支部・葛飾支部	葛飾支部	
23	土				
24	日				
25	月			蒲田・大森地区	
26	火		葛飾支部	城西支部	
27	水				
28	木		足立支部		

## 健康づくりはウォーキングから

いちばん身近で安全性の高い運動、ウォーキングで日頃からの健康づくりをはじめませんか。無理せず続けることでさまざまな効果が期待できます。

- ・**脳の活性化** → 足の筋肉は脳の神経と連動しており、これらの筋肉を使うことにより、脳は活性化され、覚醒を促し、ボケ防止にもつながります。
- ・**筋力アップ** → 下半身を強化し、腰痛を予防します。
- ・**骨粗鬆症の予防** → 造骨細胞を活性化させ、骨を丈夫にします。
- ・**生活習慣病予防** → 高血圧・高脂血症・糖尿病・心臓病などの予防・改善をし、また、血管の緊張を緩め、肩凝りが解消されます。



生活習慣病予防・改善の必要がある人が運動を始めるには、ご自身が安全で楽しくできる身体状況であるか知っておくことが大切です。年に1回は健康診断を受けてチェックし、場合によっては強度を下げたり、中止する勇気も大切です。

健康保険組合では、春と秋の年2回ホリデーウォーキングを開催しています。ウォーキングに参加して歩くきっかけをつくってみてはいかがでしょうか。

春のウォーキングにつきましては、機関紙「めっきけんぽ」3月号で詳しくお知らせする予定でおります。



## 光と影 今、新たな決意で

東京都鍍金工業組合  
東京鍍金公害防止協同組合 理事長 大村功作



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、この新しい年を、新たな抱負と大きな期待をもって、お迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。私も、心新たな思いをもちつつも、昨年、当業界を取り巻く環境が極めて厳しいものがありましたので、身の引き締まる気持と、一種の緊張感をもって、新年を迎えました。

我が国経済は個人消費の低迷が続き、民間設備投資が減少するなど、内外需ともに落ち込みつつある中、株価が最安値を更新し、完全失業率が5%台になるなど、まさに、経済が萎縮するデフレスパイラルの過程に入りつつあり、特に、中小企業におきましては、景気の悪化度合が激しく、景況は、一段と厳しさを増しています。政府は、不況脱出を図るべく、様々な構造改革を断行しようと試みましたが、目に見える成果が今だ無く、政府への失望感も出始めました。

私達、めっき業界においても、様々な出来事に直面。不況下において、依然受注の困難による転廃業が高水準で推移するなど、厳しい経営状況が続いています。この最大の要因は、工場集積地の空洞化や技術・技能の継承難といった現象によって、技術力をもったモノづくりの基盤が崩れ、危機的状況にあるからであると言われています。

また、環境問題への対応では、昨年来、業界最大の課題である環境省の「ほう素」「ふっ素」「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」につきまして、私達は、組合員皆様のご支援のもとに、精力的に関係方面へ要請活動を展開。その活動が実り、3年間の暫定規制値が設定されました。

東京都環境確保条例につきましては、P R T R法の制定を踏まえ、従業員規模、届出事項、情報開示に係る問題について、東京都に強く要望。とりわけ本条例施行に当たっての運用面について、現在、鋭意東京都と話し合いを進めているところです。

土壌汚染対策については、国や都の規制等の動きに、組合として、関係方面への働きかけを行うと共にその対応を検討しています。

“光と影” とかく影の印象が強かった昨年。新しい年は、私達の取り巻く環境に、どのような変化を見せるのでしょうか。先行き不透明な時代を迎えましたが、私達は、創意と工夫、自助努力をする中で、前途ほのぼのとした光に向かって、確固たる道を切り拓いていかなければなりません。

私は、今、組合の直面する重要課題、即ち環境問題、人材育成、技術開発、情報化推進等に、積極・果敢に取り組むと共に、組合運営に際しては、“初心に返って事に当たること” が、極めて重要であると考えています。

今後、執行部一同、組合活動に全力で邁進して参りますので、組合員の皆様にはなおい層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり組合員の皆様及び関係者の皆様のご健勝、ご発展を心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

## 謹賀新年 葛飾支部



### <年頭所感>

葛飾支部長 神谷博行

明けましておめでとうございます。

昨年5月から支部長になり、めっき業界の現状を支部員の皆さんに、分かりやすく説明の出来る支部長を目指し、A4一枚の支部長だよりを5回程書き、評判もまあまあでした。依然回復の兆しのない経済情勢の中では、支部員の皆さんも今一つ元気ありませんが、フッ素、ホウ素の暫定基準が組合本部の力でほぼ納得出来る規制値になったことが良かった事の一つではないかと思えます。

東京都環境確保条例がどの程度の報告で済むかが心配ですが、今後も三役一同で支部員の為になる支部事業を行っていききたいと思います。

昨年製作した御輿です。景気が回復して喜んで皆さんとかついでみたいですね。

(おゆざりします原価にて)



# 謹賀新年 城西支部

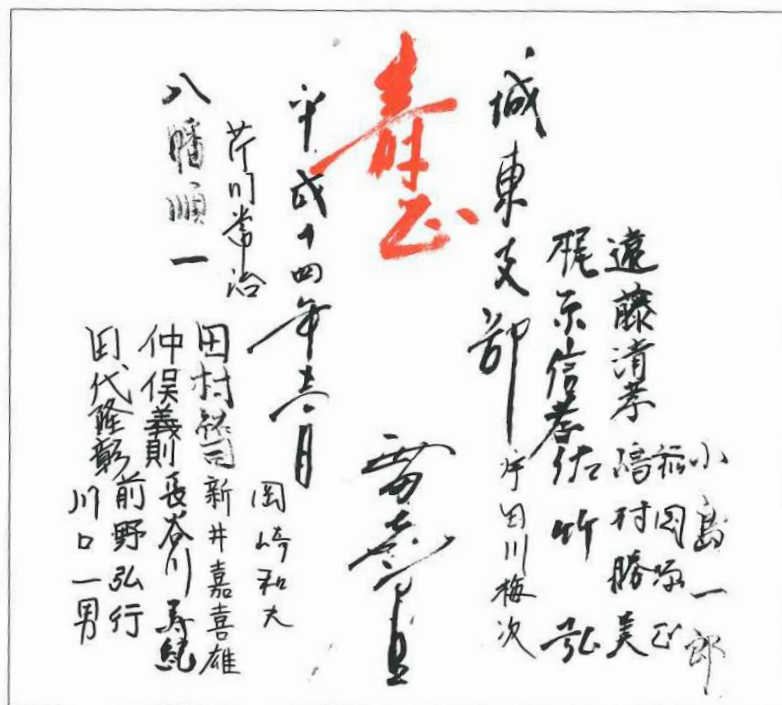


(株)小林鍍金工場  
 (株)田中鍍金工場  
 清水鍍金工業  
 (有)しのぶ鍍金工業  
 日新電化(株)  
 (株)佐藤鍍金工業所  
 旭鍍金工業(株)  
 (有)二幸鍍金工業所  
 (株)青木メタル  
 (株)旭電化研究所  
 (有)成増メッキ工業所  
 (株)シルベニア  
 日本ニュークローム(株)  
 光鍍金工業(株)  
 (有)井上プレイティング  
 (株)産究化学工業  
 共栄鍍金工業(株)  
 (有)大村鍍金工業所  
 (株)日本エムケー  
 (有)清水鍍金工場

(株)瑞光  
 (有)高野鍍金工業所  
 (有)藤野鍍金工場  
 (有)高橋鍍金工業所  
 (有)山本メッキ工業所  
 (有)元井鍍金工場  
 高松電鍍工業(株)  
 藤岡鍍研工業(株)  
 (有)東研電化工業所  
 (株)千早  
 (有)正栄工業  
 菊地鍍金工業  
 (株)協和  
 (株)エスケイエス  
 (株)清化学  
 飯島鍍金工業(有)  
 (株)加藤鍍金工場  
 (資)渡辺鍍金研究所  
 三共鍍金(株)  
 (有)青光メッキ工業所

(株)ジンカートセンター  
 和光鍍金(有)  
 (有)山紅  
 小豆沢技研工業(株)  
 (有)板橋鍍金工業所  
 武荻鍍金(株)  
 (有)柏村防錆研究所  
 日硬クローム工業(株)  
 高橋メッキ工業(有)  
 日本システムプレイティ  
 ング(株)  
 協青メッキ工業所  
 市村鍍研工業所  
 (有)三和  
 (有)協栄電化工業所  
 (有)常盤鍍金工業所  
 第一化学工業(株)  
 (株)コーケン  
 (有)岩本メッキ

# 謹賀新年 城東支部



小川金属工業(有)

日本カニゼン(株)

(株)佐竹製作所

木下電化工業(株)

(有)三協電化工業

(有)前野メッキ工業所

斎藤メッキ工業所

朝日電化(株)

(株)クラウン電研

(株)田島製作所

(有)松尾メッキ工業所

小石田鍍金工業(株)

(株)高 勢

(有)石橋化工

(有)岡崎鍍金

(有)硬盛クローム工業所

(株)フナボリ

東栄パース(株)

(有)加藤鍍金工業

仲俣鍍金

(有)斎藤電化工業所

菅野鍍金(株)

八幡鍍金工業(株)

嶋村鍍金工業(株)

(有)アド・クリエーショ

ン

信栄鍍金(株)

(有)羽島電化工業所

(有)稲岡クローム工業所

(株)小島鍍金工業所

(資)西田電鍍工場

(有)いわき製作所

関東鍍金工業(株)

(有)滝沢鍍金工業所

(株)湯沢亜鉛鍍金工業所

中山電機製作所

(有)小林鍍金工業所

(資)明正鍍金工業所

(株)斎藤鍍金電化

(資)立原鍍金工業所

(株)京葉鍍金工業所

昭和電化工業(株)

木根川鍍金(有)

(有)芹川鍍金工業所

(有)長谷川鍍金工業所

江戸川電鍍

(有)鈴木鍍金工場

(有)朝日鍍金工場

(株)大 岩

伸化学工業(有)

(株)ハヤノ

# 謹賀新年 向島支部



## 有害化学物質の土壤汚染

向島支部長 池田敏則

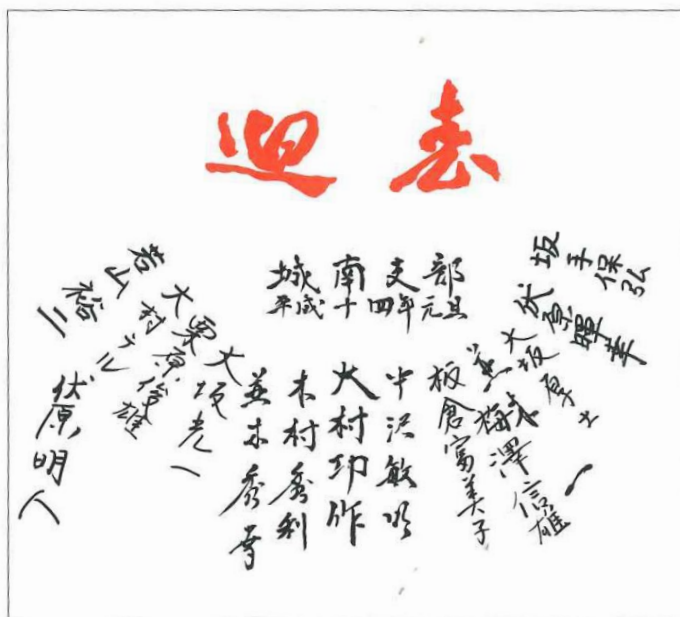


都環境確保条例の施行に伴い、土壤汚染が問題となってきました。廃業した組合員はこう言います。

先代から受け継いだ家業、50年以上クロムめっきをやっている工場である。めっき液の地下浸透がどのくらい進んでいるか見当がつかない。補修工事をしたりして対策は講じてきたが、廃業すると土壤の調査が、10月1日より義務化された。土地を売却して会社を解散しようとしても、土地価格の下落も影響して、今の状態では、廃業しようとしても廃業出来ない。自己破産の道しかない。景気低迷と規制の追い討ちが我々を窮地に追い込むことを行政は十分に認識しているのであろうか。規制以前の標語に「悪い水、ためて、うすめて、少しずつ」とある。何ppmもない。規制の変化と産業構造の変化で、130から現在55社と、激減した。どうなる中小零細企業、生き残るため必死に頑張ろう。健康に留意して。



# 謹賀新年 城南支部



(城南支部忘年会 12月5日)

<新春雑感>

## 謹賀新年 城北支部一同

城北支部長 篠根 健一



### ☆こんな時代に癒しも大切！

近くのミュージックショップにCDを買いに行った。目的のCDを探している内に癒し系音楽のコーナーが目に入る。目的のCDの購入も忘れ、いつの間にか一枚の癒し系ミュージックCD“feel”と言うアルバムを購入していた。また翌月ミュージックショップに行くと癒し系音楽コーナーは倍のスペースに拡大されていた。また一枚“ピースフル”と言うCDを購入していた。お店の人に「癒し系のCD売れているのですか」と聞くと、店員さんは「お客様の年代の人が良く購入されるんです」と返事が返ってくる。お客様の年代の人と言うのが胸に“グサ”つとする。こんな時代だからみんな疲れているのか…？一杯飲んで部屋に戻りスピーカーを鳴らす。快い音の響きに心がほどけてゆく。こんな時代だからこそ心の癒しも大切なのかも知れない…？

CDラックに癒し系のCDがまた一枚増える。最近ミュージックショップに若い人の姿が減っている。携帯電話の経費のためとか、レンタルCD、ITの進歩とか理由は色々あるのだろうが、明らかにCD離れは進んでいるように感じる。一時「めっき離れ」と言う言葉を耳にした時期があった。混迷深い時代でも「めっき離れ」などと言う言葉の環境を作らないよう、ゆめゆめその努力を惜しんではならないと新年の誓いを新たにす。

### ☆今年も頑張る！

週一回女性4～5人と陶芸をする機会がある。その時に何時も感じる。最近の中年女性はほんとうに元気だ！昨日はパッチワーク、今日は陶芸、明日は3B体操、料理教室と行った具合、彼女らのエネルギーには舌を巻く。「そのバイタリティーはどこから」と聞くと、異口同音に「家事もしっかりやってきたし、子育ても終えたし、これからが私達の時間、その時間を無駄にしたくない」との事。鼻息は荒い。最近洗濯機は洗濯から乾燥まで、食器洗い機、電子レンジ、冷凍食品等々、近代的な援軍が多くある。男は一日のほとんどを仕事に明け暮れる。女性に比べてはるかに自由時間が乏しい…宿命と言ってしまえばそれまでだが…ちょっと悔しい…いや正直言って大分悔しい…！男だってその気になれば負けてはいない。我が家の大黒柱は俺なのだから…だから今年も頑張る！





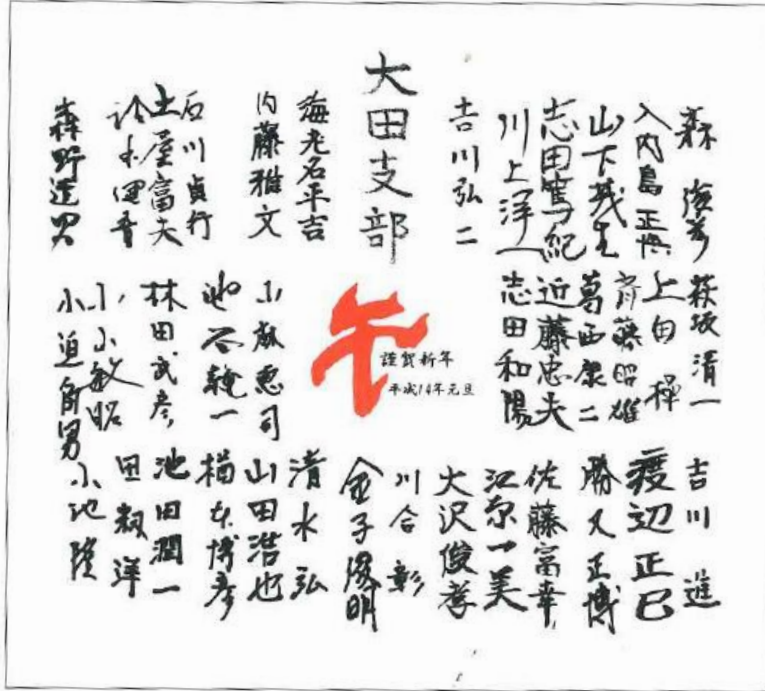
## 謹賀新年 足立支部



(あだち地場工業製品フェア/13. 7. 13~14 足立支部展示品)

- |               |            |             |
|---------------|------------|-------------|
| 足立工業(株)       | (株)梅田鍍金工業所 | 梶山鍍研工業所     |
| (有)ミドリ鍍金化学工業所 | (有)坪井鍍金工業  | (有)協栄鍍金工業所  |
| (有)小島鍍金工業所    | (有)笹本鍍金工業所 | (有)小室鍍金工業所  |
| 常芳鍍金工業(株)     | (有)最上化工    | 石川鍍金(株)     |
| (有)内山鍍金工業所    | (有)大出電鍍工業所 | (株)八神化学工業所  |
| (有)水藤電鍍工業     | (有)磯村鍍金工業所 | (有)瀬古鍍金工業所  |
| 硬栄鍍金工業(株)     | 大羽化学(有)    | 国光鍍金工業所     |
| (有)トヨダ電鍍      | (有)大成化学工業所 | 渡辺鍍金工業所     |
| (有)金子メッキ      | (有)縄田鍍金工業所 | (有)小台鍍金工業所  |
| 小林ゴールド工業(株)   | (有)水谷鍍金工業所 | 硬化クローム工業(株) |
| 城北電鍍工業社       | 本郷鍍金工業(株)  | (株)サカガミ     |
| 横山電解研磨(株)     | セテック(株)    | (株)仁木鍍研工業所  |
| (有)高橋鍍金工業所    | 長圓(株)      | 鈴木鍍金工業(株)   |
| (有)豊田鍍金工業所    | (資)橋本鍍金工場  | 江北鍍金(有)     |
| (有)豊光鍍金       | (株)小澤鍍金工業  |             |

# 謹賀新年 大田支部



組合員章

## 大田支部



城南連合

 東京都鍍金工業組合  
 東京鍍金公害防止協同組合

2002  
Calendar

晴雨表入り年間予定表付

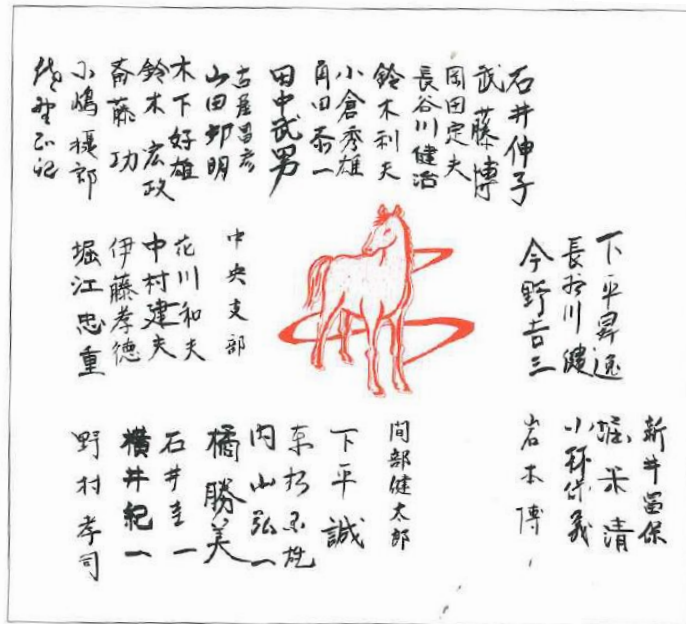
城南連合

 東京都鍍金工業組合  
 東京鍍金公害防止協同組合

大田支部

2001.12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

# 謹賀新年 中央支部



## <年頭所感>

中央支部長 下平 誠



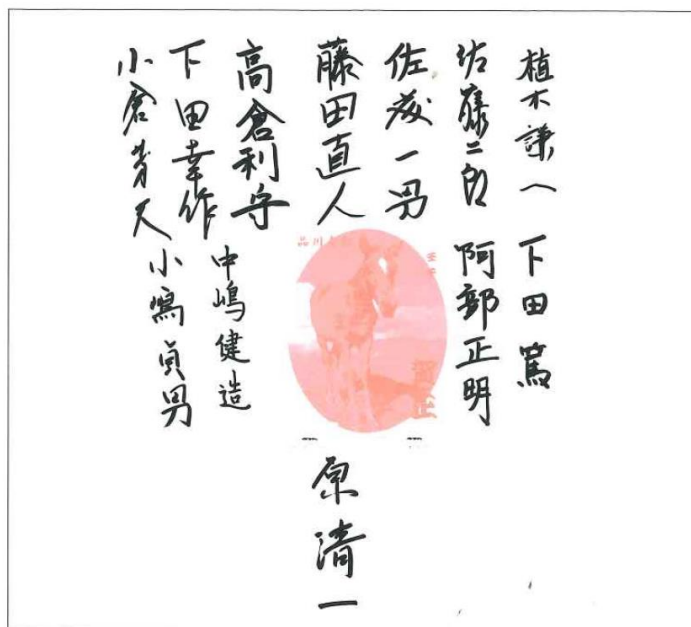
明けましておめでとうございます。

昨年はアメリカで同時多発テロが起き貿易センタービルの破壊など世界的大惨事がありました。また、経済情勢についても経済評論家は、今年の日本はもっと厳しくなるのではないかと予測しています。ここ数年バブルが弾けてから、めっき業界は非常に厳しい日々が続いていますが、さらに環境問題等が加わり、我々の経営環境はより厳しく難しい時代に入ってきたと思います。

マスコミ報道では毎日のようにリストラという言葉がない日はないくらいで、日本全体、会社経営の厳しさと難しさ、企業としての生き残りをかけて大企業も日本から出て外貨を稼ぎ、会社の存続をかけています。我々も会社経営の在り方を色々模索し生き残りをかけていますが、日本全体が構造改革の波とともに、めっき業界も変わりつつあるのは事実だと思います。仕事量でいくのか、単価優先でいくのか、各事業所のスタイルは違うにしても、仕事をし売上高を上げなければならないのが現実です。

さて、徳川吉宗が大岡越前とコンピを組み、享保の改革をしたことは有名な話ですが今日で言えば減給カリストラの断行だと思えます。現在仕事を選ぶということの難しさはあるにしても、財政の建て直し、あるいは会社を盛り上げていく難しさは、今も昔も変わらない事だと思います。1日も速く新しい時代に向けてこの難局を乗り切っていくことが出来ますようお願いしております。

# 謹賀新年 品川支部



(有) 二幸精鍍研究所  
 山田鍍金工業(株)  
 (株) 三 正  
 (有) 八幡精鍍工業所  
 (有) 市徳鍍金工業所  
 (資) 阿部鍍金工業所  
 美水彩金(有)  
 (有) 野田鍍金工業所  
 旭型工業所  
 (有) 蔵王電化工業所  
 (有) 慶昌鍍金工場  
 小倉鍍金工業(株)  
 (株) 大槻メッキ  
 (有) 千歳鍍金工場  
 (株) 綱島鍍金工場  
 渥實鍍金工業(株)  
 (有) 光電鍍工業所  
 藤田鍍金工業(株)

明盛鍍金工業(株)  
 (有) 松井鍍金工場  
 戸越メッキ工業(株)  
 (有) 石坂鍍金工業社  
 (有) 浅川鍍金工業所  
 (有) 植木電工業  
 (有) 佐藤鍍金工業所  
 菊地クローム工業所  
 (有) 神明鍍金工業所  
 (有) 山形鍍金工場  
 (有) 向後鍍金工業所  
 (株) 井上電鍍金工場  
 琴平工業(株)  
 晃信精密機械(株)  
 (株) 金属被膜研究所  
 (有) 沼沢メッキ工場  
 (有) 太陽鍍金工業所  
 (株) 三ツ矢 五反田工場

(有) 不二電化鍍金工業所  
 (有) 半井鍍金工業所  
 (有) 小島鍍金工業所  
 (有) 伊豆鍍金工業所  
 (有) 伊藤金属工業所  
 (有) 佐藤硬質鍍金工業所  
 金剛ブロンズ工業(株)  
 鈴木鍍金工場

# 謹賀新年 本所支部



二〇〇二年

東京都鍍金工業組合  
本所支部

安齋克茂  
酒谷正明  
左間茂雄  
山田英佐夫  
岡本博司  
横山昇  
野田光昭  
安西健一郎



今年も本所支部は  
人の輪で  
歩みつづけます

<年頭所感>

## 組合の一致団結を

常任理事 半田 實



新年明けましておめでとうございます。

平成14年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

世界の政治経済が、ますますグローバル化すると共に、日本にも独自性、自主性が求められ、個人にも「個」の意識が要求されるようになりました。

中国のWTO加入を契機に、アジア地区の自由貿易協定が強く要望される中、安価な中国からの物資に追われ、日本国内の製造コストの低減により、国内製造業は大変な時代となりました。

昨年は、大企業のリストラ等に伴い、失業率の増加となり、私達業界においては、大不況と同時に国内産業の空洞化が進み、基幹産業が全滅に近い状態となっております。特に、日本から中国に産業基盤が移り、めっき業界にとっても、深刻な問題として受けとめなければなりません。

しかし、このような時代こそ、組合員一丸となって、技術開発、環境対策、ホウ素、フッ素の排水規制問題をクリアーし、勉強、努力が必要ではないでしょうか。

昨年末、常任理事の梅本喜四郎氏の音頭により、初めての常任理事のみの会合を開き、お互いの意見交換を持ちました。その中で、常任理事とは何か、という意見が出されました。

私の支部は、西部支部に属しますが、私の意見として、組合本部理事会の時に、何故、常任理事、支部長、副支部長の3名もの理事が出席しなければいけないのか、常任理事を支部長が兼務すれば、各支部に戻っても、会合の内容報告が出来ると、発言させて頂きました。組合員の減少する中、これからは各支部の合併、統合ということが出てくると思います。本部役員もスリム化しましょう。将来の明るい展望を、期待するため、各企業と業界が、一致団結し、この厳しい時期を乗り切るしかありません。

最後に、組合員皆様の事業のご発展と益々のご健勝を祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

(有)半田鍍金工業所



<年頭所感>

## 日本の技術を生かして

城西支部長 元井 民夫



新年明けましておめでとうございます。

私は昨年5月に支部長に就任いたしまして、無我夢中でしたが、任務をここまで果たすことが出来ましたことは、ひとえに組合に対する皆様のご理解とご支援、お力添えの御蔭だと心より感謝し厚く御礼申し上げます。

さて、去年は景気が後退するばかりの1年でした。金融政策の効果は極めて大きいはずなのに、今回はこれほどまでに利下げを実施したにもかかわらず景気刺激には役立たなかったのでしょうか。普通世論では9～12カ月後に効果が出始めるといわれていますが、結果的には日本のデフレ不況は益々悪化の相を深めています。そうした中で政府の景気対策を求める声は日増しに大きくなっておりませんが、政府の取り得る政策余地は限られているのではないのでしょうか。今までの日本は「物作りの国」といわれて、製造業が経済を支えていると信じられてきましたが、現在の日本人の件費、インフレコストなどを考えますと中国が世界の工場になる確率は極めて高くなりつつあると思います。ソニーの会長が仮に日本人の賃金がただになっても単純な組立産業は中国にはかなわないと申しています。しかし自動車、電子部品など高度な精密を必要とする分野では依然日本の企業を抜くことはできないと思います。また最近のIPO企業には技術力に優れた企業も多く見られます。このようにまだまだ日本は付加価値の高い分野では当然世界競争に勝てると思います。しかしその反面価格面では、中国などに太刀打ちできない分野が増大しているのは間違いありません。日本経済を再生するためには、官頼みから脱却し民間企業の活力を取り戻すしかないと思います。日本のリストラ策は、米国企業に比べるとスピード感に欠け収益改善には役立っていません。それでも日本の失業率は5%を越え最悪の状態になっています。また、これにアメリカのテロ事件が加わりダブルパンチの企業が少なくはありません。

日本の技術を生かす産業がよくならない限り日本の景気は向上しません。なんとか力を合わせ、不況を切り抜け好景気になることを望みたいものです。我々めっき業界においては環境、土壌問題などが益々厳しくなり、大変な時代を迎えています。何卒皆様のご協力をお願いします。最後に皆様のご健勝をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。

(有)元井鍍金工場

<年頭所感>

## 強力な支部事業活動を

大田支部長 志田和陽



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご祝詞を申し上げます。平成 14 年壬午の年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心よりお祈りさせて頂きます。

旧年を振り返りますと、国の内外を問わずに政治、経済、社会からスポーツに至るまで 10 大ニュースでは、到底足りないくらいの事が数多く頻繁に発生しました。明るい話題の事柄も多くあったのですが、何故か暗い事件ばかり記憶に残ってしまいます。

国際化がどんどんと進展する中で世界のどの地域で起きたどの分野の事も善し悪しに関わらず多少の差があっても必ず我が国にも影響します。年が改まれば総てが解決するとは思いませんが、良い方に向かって貰いたいものです。そして、昨年の我々業界内を見ましても一部を除く多くの企業が長引く不況、金融不安、企業の国際化による産業構造の変化からくる受注減、売上減により非常に深刻な状況が続いているようです。当支部(弊社を含む)でも事情は同じで賢明な判断力と努力を惜しまない精神で時代の変化に対応できるタフな企業体質を創らなくては会社の事業継続は難しいかも知れません。

今年は出来る限りの力で頑張れば必ず良い結果が出ると信じて仕事に励むことが私の課題であり抱負です。また、支部と致しましてもより一層の結束力を以ってこの不景気に対処して行きたいと思えます。会社、家族、従業員は大切です。何事も御家大事。それらを守るためにも今年は、工業組合の基本趣旨である「相互扶助の精神に基づき経済活動の機会を確保し経済的地位の向上を図る」を目的に支部の皆様を応援出来るサポート組織としての事業活動を強力に展開して行きたい所存です。一人一人が一生懸命で全員が智恵を出し合って協力し合えばこんな力強いことないですね。

本年も大田支部を宜しくお願い致します。

平成 14 年 元旦  
(有)大森広尾鍍金工場



<年頭所感>

## 役立つ事業活動を

連合青年部会会長 溝口 昌範



新年明けましておめでとうございます。

昨年は世界的に、未曾有の大事件、大不況に見舞われ、日本列島全体、先の見えない閉塞感の中、1年が過ぎていったように思います。

組合員の皆様にも、今年こそは、という思いは特に強くお持ちであると思います。

さて、そんな厳しい状況の折、皆様の会社運営をサポートするべく鍍金工業組合の中で、連合青年部会という会はどんな活動をしているかという点をご紹介したいと思いません。

まず御存知の通り、東京都鍍金工業組合には12支部あり、その内の西部、足立、向島、城北、城南、城西の6支部の青年部会のそれぞれ担当幹事(主に各青年部会の会長)が集まり、連合青年部会を運営しております。実際の活動としましては、納涼会などの機会、6支部青年部会会員同士の親睦を図り、さまざまな情報交換の場を作ること。また、勉強会などで、若手経営者の皆様のお役に立てるような講演会などを行う。今期は9月に「事業継承について」を行い、1月に「助成金セミナー」を行う予定です。2月には、昨年より恒例となった、材料組合の青年部である「つくし会」との交流会を予定しております。3月には6支部青年部会会員の家族も含めた、これまた恒例のボウリング大会があります。

以上のような活動を通じ、各支部青年部会同士の交流が潤滑に行えるよう。また、全会員の皆様が各々、事業運営の上で役立つ情報を提供することなどを目的としております。

今年もまた、昨年同様、厳しい状況に変わりないと思いますが、各青年部会、力を合わせて乗り越えてゆきたいと思えます。また、今年は合同の工場見学も予定しております。皆様、今年も1年、連合青年部会の活動に、ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、組合員の皆様、青年部会員の皆様の御多幸と御健勝を祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

株旭電化研究所

<年頭所感>

## 効率化を目指し

城東支部青年部会会長 遠藤典夫



新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

近年、日本ではこれほどまで長引く景気の低迷があったでしょうか。暗中模索の中、私たちは今年も長いトンネルを突き進まなければなりません。

昨年は小泉内閣が発足し、構造改革、金融再生など打開策が打ち出されましたが、一向に回復の兆しが見えてきません。むしろ経済危機が拡大したかにも見える状況です。

時代は恐ろしいほど早く進行するものです。企業は時代の波に乘れないほど衰退を予期され、新たなる局面に身を打ちださなければいけません。私たち業界は新たな環境問題に直面しつつあり、これを避けることはできません。

地域社会の環境問題、六価クロム排出規制などさまざまな規制があり、大変苦しい状況におかれています。近い将来、東京には工場がなくなる日が来るかもしれません。

21世紀はIT文化の先駆です。そして今年には日韓ワールドカップ開催。多少の経済効果があるのでしょうか。とにかく、今年こそは、めっき業界の経済環境を、発展の活路を見出す年にしなければいけません。そのためには、あらゆる面での「効率化」が重視されてきます。

労働時間の  
事業内容の  
運搬作業の

} 効率化及び合理化

21世紀を切り開いていくためには効率化社会を目指さなければいけません。

先頃、ガソリンに代わって自動車も水素ガスを燃料にし、排気ガスのないクリーンな地球にやさしい車を実現しつつあり、効率を重視した車といえるでしょう。そして、現在、スモール・イズ・ビューティフル、「小さいことはよいことだ」小型化・軽量化し、いわばこれも効率といえるでしょう。製品とは改良に改良を重ねて初めて商品化するものです。

「ローマは1日にして成らず」、私たちめっき業界も、長年の創意や工夫により積み上げてきた何かを、今こそ発揮する時が来たようです。

私たち城東青年部会は常に新しい動きに関心を持ち、技術を磨き、体力を養う場として活動しています。

城東青年部会は昭和62年発足以来、年々会員数が減り、これは社会問題として、少子高齢化が進み、身近な私たちにも押し寄せてきているのです。地球のサイクルは、生まれてそして死んで行くの繰り返しなのです。私たち組織も新しい風、新しい息吹が必要になってきているのです。それに対し、私たちは順応性を持ち、これからはさらに多くの若手経営者・後継者に呼びかけ業界発展の推進力として活動していきたいと思っています。

<年頭所感>

## プラス指向で明るい年に

城南連合支部青年部会会長 坂手保弘



新年明けましておめでとうございます。

気分も新たに今年を皆様とともに良い年に行きましょう。

さて昨年、二十一世紀最初の年を振りかえりますと、この業界にとってあまり良い年ではありませんでした。小泉内閣の行政改革の期待に遅々として進まないそのスケジュール。IT分野を中心にした輸出の低下とそれに伴う生産活動の落ち込み。中国製品の脅威。9月11日に発生した同時多発テロ。など、数え上げたらきりがありません。

昨年、城南連合支部（城南、品川、大田）青年部では、毎年恒例で行っていた工場見学会を取りやめ、講演会を企画開催致しました。「ちょっと仕事から離れ心が豊かになるひととき」という題目で、テレビ番組「開運！なんでも鑑定団」ティントイ（ブリキのおもちや）でおなじみの北原照久さんをお招きして講演していただきました。ふだん、私たちを取り巻く環境とはまったく違う価値観に触れることで何か新しいものが発見できないかということ企画したわけです。

この講演の中で、「どんな窮地のときでも必ず活路はある。プラス発想でことに望めば、必ず物事の良い循環がおきる。」と、くり返し北原さんはお話されていました。一時間半たっぷり汗をかきながらの講演に圧倒され、あり余るパワーも北原さんがここまで成功できた要因だと実感しました。

景気の悪い顔には、景気の悪い話しか出てきません。プラス指向で明るい年にしましょう。

昨年は二名の新人を迎え、今年も一名以上の入会が期待できます。活発な意見交換や活動の中からあらたな発想も生まれてくると思います。

これからも、青年部の活動にお力添えをくださいますようお願い申し上げます。

最後に、陰ながらいつも応援してくださる OB 会員の方にこの場を借りてお礼を述べさせていただきます。新年の挨拶とさせていただきます。

(株)トーテック

---

<年頭所感>

## 「魔法の薬」

若葉会会長 深田 稔



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、予想だにもせぬ暗い悲しい出来事が多く、振返ってみましても、明るく楽しい事はあまり見つかりません。この先どうやって乗り切っていくか、具体的な事は正直申し上げましてわかりませんが、現実を直視しつつも確固たる意志とポリシーが欠如しては返って後退してしまいます。

人の心や心理は経済活動や病までも左右します。つまり、我々が携わっている全ての環境は生き物と同様であるという事で、それらを変化させられるのは結局我々自身なのです。株価なども業績を必ずしも反映しているとは言いがたく、やはり人の心が大きく関与しています。

病は気からと申しますが、プラセボ効果という医学用語を耳にした事があるでしょうか？私は以前、医薬品の営業をしております、抗がん剤から精神安定剤まで取り扱っております。精神安定剤は副作用として筋弛緩や眠くなる事がありますが、眠くならない薬品を処方する際、ドクターが「これを飲むと眠くなります。」というと殆どの患者さんは眠くなります。また、風邪をひいた時「これを飲めばいつも絶対直る」と確信し飲むと完治する事が多々あります。

つまり、自己暗示をかけることにより自己治癒能力が高められたり、予想外の結果が発生したりします。これは医学的に証明認識されている事です。

いかなる際もまずは、自分自身の意志を強く持つ事が最良の道への第一歩ではないでしょうか？そしてそれが「魔法の薬」となる事と思います。

さて、若葉会も会員数が減少し、運営が困難になって来た時期に、無能な私が会長に就任してしまっただので、会員に「柱」という言葉の語源は、端というのが正しく、柱の「ら」は君等、僕等の「ら」つまり複数を意味します。つまり、柱は1本では存在しえないものなのです。大黒柱もまさに何本の端に支えられている1本の端にしか過ぎないので、歴代の会長の時より積極的に参加し、支えて欲しいとお願いしましたので、会長としても精一杯会の運営に尽力したいと思います。

深中メッキ工業㈱

---

<年頭所感>

## 従来型から次世代型へ

西部支部青年部・五月会会長 柴 太



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、益々御活躍の事とお慶び申し上げます。

ここ数年に及ぶ社会情勢の不安、経済不況、景気低迷と暗いニュースがリンクしておりますが、昨年は特に国内の空洞化が目立ちました。

私達青年部では、今年度は昨年に引き続き「従来型から次世代型」をテーマに活動して行く予定ですが、例えば、大量生産をメインとした従来型から付加価値のある多品種少量タイプの次世代型へと時代にさきがけた発想の転換を考えております。従来5人で行っていた作業を初めから終わりまで1人で行ういわゆる「一人屋台」という発想です。

今年は昨年以上に「変化とスピードそして変革」の時代で有り、その速度は従来とは比較にならないほど速く、また、激しく苦しい時代だと思えます。そこで、「従来型から次世代型」への経営理念、技術革新、構造改革等を考え、過去の長所・短所を見極め、再度足元を固めながら今、自分達が出きる事は何かを考えて行きたいと思えます。私達青年部は、新しい年の幕開けにあたり、若い力を再編成し、目標達成に向かって進んで行きたいと思えます。

以上皆様のご指導、ご協力を賜り、益々の発展を願いまして新年のご挨拶とさせていただきます。

---

<年頭所感>

## ～時代の変わり目～

十日会会長 仲俣 雅行



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、不況の中であって、さらに不況色の強い1年でありました。国内企業の中国進出による技術の流出、その結果としての国内産業の空洞化現象。また、環境や土壌に対する必要以上の法規制等の影響により廃業せざるを得ない企業が、後を絶たないのが現状であります。

しかし、見方を変えれば20世紀が大量生産を中心とした『物』が中心の時代だったのに対し、これからは『人』や『知恵』が中心への時代と変わる通過点が今なのではないでしょうか。我々、めっき業に当てはめるならば、人と人、人とめっき液、または人と機械など、それぞれのケースに当てはまる知恵やコミュニケーションをますます活発にすることが、今後生き残っていく道ではないかと思えます。

また、10年後には日本の製造業は国内産業の10%になるなどと言われておりますが、資源を持たない国が達成できる数字とは到底思えませんし、逆に10年後には現在の倍にする位のことを政府には期待したいと思えます。

我々、十日会におきましては当会の基本スタンス（司会する・討論する・協力する）を基盤に、めっき業がめっき業であるための例会を中心に、今年1年活動していく所存でございますのでよろしくお願い致します。

本年が皆様にとって素晴らしい1年であることをお祈り申し上げます。

# 東京のものづくりに思う

(株)ヒキフネ  
石川 進造



## (急変する時代の背景)

2001年を起こった一連の波乱は、世界の歴史で新しいページを書き加えました。この衝撃的な事件が、世界に与えた影響は悪いことばかりではなく、事件の歴史的な背景について、深い反省がなされるに違いないと信じています。

さて、日本においては加速する産業の海外移転と、深まる国内の不況とどまることを知りません。低い製造コストを求めて産業が海外移転をするのは、過去の歴史でもたびたび見られることです。しかし、中国一国の消長が全世界に波及するというようなことは、過去にその例を見ません。

恐ろしい速さで、中国が技術移転・生産拠点の移動が行われているのは、厳しい国際競争に生き残るためといわれております。資本や技術・設備がグローバル化という錦の御旗のもとに、容易に国境を越える事が出来ますが、大多数の生身の人間が海を越えることは不可能なのです。そして大多数の人は日本で生きなければならぬのです。

かつての日本の製造業は、フルセット型の産業構造でした。それをアジア圏の国々と国際分業をするという幻想がありましたが、今や中国はフルセット型の産業構造となりつつあります。世界中の国々は、ローテクからハイテクまでの生産拠点を中国に移し、原料の製造から加工組立まで一貫して担わせ、さらに若くハングリーで、しかも知的レベルの高い人々に、ソフトウェアはもとより研究開発までさせるようになりました。

## (東京のものづくり)

石原都知事は、この危機的になった「東京のものづくり」に対して、中小企業振興対策審議会に「東京のものづくりはどうあるべきか」を諮問しております。平成13年10月より始まったこの委員会は、疲弊した東京の中小企業に対して、支援の具体案を練る目的で「規制緩和分科会」「支援策分科会」を置き、数名の民間委員と学識経験者・都職員を構成員としております。

私は規制緩和分科会に所属しているので、国のPRTR法と都の環境確保条例に整合性が欠ける点と、さらに環境確保条例が東京都の中小のめっき業者に、どれほど大きな負担をかけるかを主張してきました。

審議会は、都の産業の実態を把握するために、アンケートとヒヤリングを行い、城東地区と城南地区の経営者、各10名からヒヤリングをしました。ヒヤリングには当組合の役員が城東・城南から一名ずつ出席しました。

ヒヤリングに参加した会社は、規模の大小はあるにせよ元気のある会社が多く、発言の内容を聞く限りでは、不況までどこにあるのかと耳を疑いました。現在の深刻な不況感が、都の職員に正しく伝わらないのではないかと思ってしまうくらいです。どうも経営者は、公式の場所では、実際とは違う格好いい話をしてしまうことが多いようです。

## (規制の緩和)

規制緩和について意見を求められたとき、工場等制限法（用途地域による工場の規制・新設工場に対する面積の制限など）に対する苦情はいくらかありましたが、公害規制に対する苦情はほとんどありません。「以前はゴミを燃やせたが、今燃やすことができない」などの低レベルの議論しかありません。

めっき工場にとって公害規制は苦勞の種ですが、ほかの業種の工場は公害などの苦勞も無いわけではないと思います。それと比べて、われわれの業界は今までの規制のおかげで、さらに人手のかかるPRTR法・環境確保条例の届出と土壌汚染防止法・フッ素化合物規制などが加えられるのです。仕事でもたくさんあり、そこそこもうかっていれば、何とか耐えますが、今のようにはひどい不況下では余分な人手はかけられません。

出席した当組合役員の規制緩和に対する反応は二通りありました。

## (組合役員の陳述した意見)

役員の一人は、環境確保条例が中小零細めっき工場にとって、どれほど負担をかける困難な仕事であるか例をひいて説明しました。また21人以上の企業に義務づけられている国のPRTR法（政令）と、都の環境確保条例（条例）では、指定物質の種

---

類も、指定番号も違うことを指摘し、地方の工場はPRTR法1本の届出をすればよいのに、東京都は計2種類の届出をしなくてはならない不合理的を訴えました。ほかに21人以上の企業といっても、営業から経理・各種届出を行えるのは社長しかいない現状も伝え、せめて、国と都への届出を簡素化し、さらに一本化することを要望しました。

もう一人の役員は「PRTR法・環境確保条例の届出は大したことはない、材料商ごやらせればよい」といいました。

当組合は、都の環境確保条例の緩和を求め陳情など運動を起しております。また、PRTR法については、全鏡車において川上副理事長をはじめ、矢部技術顧問の諸先生がたのお力を借りて、一年をかけて届出について検討を重ねてきました。しかも、そのような届出を2本も出すなんて簡単なはずはありません。

この発言で、組合内部でも規制に対する考えが、必ずしも同じでない印象を大勢の都職員に与えてしまいました。公式の場での発言には十分注意して欲しいと思います。

話がわかりますが、組合活動に正義と相互扶助の精神でなりたつていると言っても良いでしょう。問題意識と少し余裕のある人が組合役員となり、多数の組合員がかわって発言や行動をしています。ですから、役員になる方こそ、多数の零細な組合員の立場に立って発言をして欲しいものです。

### （環境確保条例とPRTR法の関係）

しかし、PRTR法は地球の環境を守る上で、苦しくとも実行しなくてはなりません。私たちは、そのことに反対しているわけではありません。力のある会社はすでにISO14000を取得しているので、この届出はたやすい事かもしれません。しかし一般の中小零細めっき工場にとってはかなり困難なテーマです。

しかも、環境確保条例は、届出が指定されている物質は国のPRTR法より多く、PRTR法では使用量1トン/年以上の報告義務に対して、都の環境確保条例の要求は使用量100kg/年以上と10倍も厳しい内容です。さらに、21人以上の工場ではPRTRには無、管理方法(取扱法・排出防止法・貯蔵法)の報告義務が課せられています。

わたしは「環境確保条例とPRTR法の届出は材料商に頼めば良い」と発言をなされた方は、PRTR法と確保法を2本も報告しなくてはならない事を、良く理解されていないのだと思います。

発言の中の「材料商…」について議論外です。全鏡車を通じて材料商組合・機材工に要望したMSDSブック(めっき薬品のうち、指定物質に該当する薬品のMSDSを集め一冊の本にしたもの)すら、協力を得ることが難しいのです。まして、材料商が材料を売りたいがために、届出まで代ってやってくれるはずはありません。材料商も扱高が減るといった不況で人減らしをしているのです。

### （東京のものづくりはどうあるべきか）

主題もどりますが「ものづくり審議会」で議論しないといけないことは、規制緩和や支援策のようなことではなく、大きく変わろうとしている日本の将来を見据えた上で、東京で、いや日本の「ものづくり」はどうあるべきかを、振り出しに戻って議論を重ねることだと思います。繰り返しになりますが、受注がたかくさんあり、もうけもほどほどであれば、人手もかけられます。廃業も無くなるでしょう。いまの問題点は仕事が無い事なのです。どうしたら需要が作れるのかを審議することが大切なのです。

かつて、通産省が国づくりに情熱を燃やし日本の高度成長時代をつくりました。その終焉として円高とバブル、飽くなきマネーゲーム、バブルの破産、その結果、国造りを忘れた官民も、ぶざまにも腐敗堕落を露出しました。そして民間活力(聞こえは良いのですが)による景気振興、規制緩和と市場競争化を引きずり出しました。さらに「あるべき姿」を描くことを忘れた構造改革、これも思わしくない今日、それにかわる民・学・官を集めた思考と牽引が必要なのです。いま流行りの「胃太」に「日本のあるべき姿」をデザインし、力強く牽引することが求められているのです。

民間だけの考えでは、即効力を望むために近視眼的になり、長期的な展望が欠けるものがあります。それを補完する意味で、行政が安全地帯から軸足を離し、誇りを持って自力で「あるべき姿」を求めべきです。少なくとも学識経験者やコンサルタントに、丸投げの近寄りかかりは望まれません。また、学者もたづねに資料をお見せに、自分ごとで知恵を吐き出すべきです。この三者が知恵をたたかわせ、あわてずに時間をかけて「あるべき姿」を探ることです。

「賢者は歴史を学び、愚者は経験で学ぶ」の格言は、この議論にとって有意義な視点を与えるものと信じます。機会を見て折々の審議会の報告をいたします。



## <新春理事長対談>

# 今年の組合運営について

昨年はおかたないデフレ経済や構造改革の荒波にもまれて多くの金融機関や製造業が破綻した。また、産業の空洞化も一段と進み、国内にとどまる中小製造業に暗い影を落としている。今年は少しでも明るい方向へ向かってほしいとの希望も強くなっているが、こうした社会情勢を背景として、組合員の転廃業も続いており、東京都鍍金工業組合の運営も厳しい状況が続いている。新春に当たり、大村功作理事長と木村秀利広報委員長が対談、今年の組合運営について、大村理事長に所信を語って頂いた。

### 景況・空洞化問題


**木村委員長** 明けましておめでとうございます。年頭に当たり、今年の組合運営について大村理事長の所信を伺いたいと思います。

昨年は、18年ぶりの株安値で大納会、失業率は5.5%の最悪の記録を更新、そうして国内の空洞化が進み、大手製造業が中国にどんどん移っている。日本経済はどうなっているのか、この辺の問題からお願いします。

**大村理事長** 明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。

円安は製造業にとってプラス要因だと思いますが、その他の不況、株安、失業率の問題は、すべて国内の空洞化がなせるわざだと思います。空洞化の話は今回で3回目だという話ですが、これまでの空洞化と違って今回はより大きな空洞化になるのではないかと危惧しています。特にめっき業界は100%と言っていいほど下請加工業ですから、親会社、物作りの企業が海外へ行った場合、大きな穴が開いてしまうわけで、中途半端なものではありません。先日新聞で、中国へ行った人達の話を読んだが、東南アジアのあらゆる





る国がみんな中国へ向いている。従って、中国の一人勝ちになっているのではないかという話です。今年は、百聞は一見にしかず、3月に東京組合として中国、深圳を中心に見に行きたいと計画をしています。遅きに失する感もありますが、現地を見れば色々な問題が分かるのでしょ。ぜひ工場見学をしたいと思っています。

昨年9月に米同時多発テロ事件が起きて、日本では海外渡航を自粛しようという方向になり、航空機もガラ空きという状態になりましたが、どうも自粛しているのは日本ばかりのようで、東南アジアの人たちはそれほど気にしていないようです。ある旅行会社の人の話では、テロの現場となった、ニューヨークは大変好調で、観光ブームも起きている。日本から空いているだろうと思ひ観劇など予約しなくとも楽々観られるだろうと気軽に行った人たちは、現地に着き何も予約も取れず観られなかったという話です。日本人は何か事件が起きると直に極端な方向へ向いて仕舞いがちです。

中国経済の現状と見通しについては、全鍍連全国大会で、ジェトロの中国駐在員の話の聞きましたが、話の善し悪しは別にして、これまでの流れがみな中国へ向いているということで、我々が国内に残って仕事を続けようと思っている人にとって、製造業が中国へ行かれては困るわけです。そうした意思表示や、何故中国なのか、国内で出来ないのかを勉強して、人件費だけでなく、トータル的に考えて貰えるような運動を考えるとともに、我々も努力していかなければいけないと思っています。

### 公防協組運営

**木村委員長** 不況の影響で、城南処理センターのシアン集荷量が減っていますが、

現状ではとても景気が良くなるとは思えません、今後の運営についてどのように考えていますか。

**大村理事長** 第一にシアン集荷量が減ったことは、めっき業の仕事が少なくなりシアン使用量も少なく廃液も出ないということで、景気の悪さがはっきりと表れた形になっています。今年の見通しについては人によって見方は異なりますが、今年は景気は良くなる、1年間じつと静かにしているより他にないと見る人、あるいは暖かくなるとともに徐々に良くなっていくと見る人もいますが、全く予想が付きません。公防協組では内部で節約出来るところは節約して、営業範囲もめっき業だけでなく、色々な業界にもお願いしています。既に他業界から相当量頂いて、それで何とか息をついているのが現状です。いずれにしても大きな借金を抱えて修理代、定期メンテナンスに大きな費用が掛かるので、どうしても今年は利益を望むところまでは難しいかなと思います。また、土壌汚染の問題に関連して、分析事業なども考えられますが、分析自体は簡単に出来ますが、最後に保証問題が絡んでくるのでこれがまた非常に難しい。土地の全部をボウリングして分析したわけではなく保証出来ないわけです。分析してお宅は汚染されていませんと報告した後、売却後再分析したら検出したということで責任問題を課せられたら対応出来ない。果たしてそうした事業を行ってよいものかどうか、執行部なり運営委員会で慎重に勉強して結論を出していきたい。公防協組はシアン廃液処理がメイン事業であり、その他の補助的な仕事は難しいと思うが、取り敢えず景気の回復を待つしかないのが現状です。

**木村委員長** 今旧事務棟の工事を行っていますがこれまでの経過を教えてください

**大村理事長** 従来の事務棟は雨漏りはひどく、壊すか建て直すしかなかったが、新しい事務棟を建て事務所を移転しました。旧事務棟は景気も悪く資金もないので、さら地にして駐車場にしてはどうかという話もありましたが、将来のことを考えて建物を建て、家賃収入なり利用出来るものがあれば何かやろうということでもスタートしました。当初改築で進めていたが、消防署や区からちゃんと確認申請を取って下さいという指摘もあり改めて認可を取り、工事しています。

**木村委員長** 改築から建替えに変わったわけですね。

**大村理事長** 建物を全部繋げて建てると消防法の面積が大きくなり、消火栓などを設置しなければならないので、別個に建てる形で進めています。

## 環境問題

**木村委員長** 次に環境問題について伺います。一昨年、ほう素、ふっ素、窒素の規制問題で、組合執行部の強力な請願運動により、めっき業に対し暫定基準が設定されましたが、3年間の暫定ということで、今後の運動はどのような方向になりますか。

**大村理事長** この3物質については暫定基準が設定され、この基準値なら我々もクリア出来ますが、いまのところ新技術の開発は一向に進んでいません。3年のうち既に1年が経過し、3年もすぐに過ぎてしまうわけで、本則適用と言われても対応出来ませんので、また3年間の延長などを関係方面に働きかけていきたいと考えています。これに対応するだけの処理技術、簡易に安く、あまり負担がかからないで対応出来るまでは何としても再延長をお願いしていきたいと考えています。

**木村委員長** もう1つの大きな問題が東京都環境確保条例への対応ですが、届出事項など難しい問題があります。

**大村理事長** 一昨年12月、我々はP R T Rを勉強し対応を検討している最中に突如として表れた問題です。東京都が国のP R T Rを飛び越えて厳しい条例を作り、10月1日に施行しました。私はとんでもないことだと思うが、ここへきてようやく都の説明会の日程も決まったようですが、果たして1回の説明を聞いただけでみなさん納得できるか、それも我々を指導する区職員も一緒に受けるもので、区の人が我々の考えていることを考慮してくれるかどうか非常に疑問を感じます。当初は使用量の届出ということで東京都環境局と話し合いをして、当面は取締りや罰則を行わない。開示もしないということで細かいことについてはこれからも粘り強く都環境局と話し合いを進めて参りたいと考えています。

**木村委員長** 環境省が土壤汚染の規制を法制化しようと動いているようですが。

**大村理事長** 土壤汚染問題では、まだ国が法制化しないうちに東京都が先行して条例化しています。やはり国の法律が出来て我々が理解してから考えてほしいと思います。過日、環境省、経産省、全鍍連で話し合い、私も出席しましたが、環境省も理解ある話をしており、こういう形で進めてくれれば心配ないなあと思っています。いずれ細かいデータが公表され、みなさんにもお知らせがあると思いますが、工場から工場の場合は検査は要らないとか、問題になるのは工場から住宅になる時検査しなければいけないということで、住宅や、あるいは不動産業に売買しないかぎりにはそんなに心配はいらないと思います。東京都の条例については環境局が窓口になると思うので、その辺の

話合いも進めたいと思います。都議会の先生方にもお力添えをお願いし、我々の立場を理解して頂けるよう進めていきたいと思います。

土壌汚染問題に関連して、めっき業を廃業した場合の跡地利用に際し、住民の抵抗が心配されます。また仮に土壌汚染を莫大な処理費用を掛けて処理した場合実質地価ゼロになります。これに対し高い固定資産税をかけられるのはおかしい。そうした問題を含めて要望しています。固定資産は国の管轄であり、環境省にも要望しましたし、東京都に対しても要望事項に入っています。また、国や東京都に安く処理できる技術開発をお願いしています。処理費用が高過ぎるので現状では固定資産がアンバランスになっている。私の個人的な考えとしては、国の土地を汚したかもしれないが、これまで国のために頑張ってきて汚したんだから、無利子のお金を貸してくれるくらいではだめで、助成してくれないと直しようがないと思います。そういうことを含めてこれから色々粘り強く話合いを進めていきたいと思います。この問題で一番怖いのは開示されることです。ここは汚染されていますよと公表され地域住民が騒がれると商売が難しくなってしまう。そういうことは絶対ないようにお願いしています。

また土地の履歴書ではありませんが、汚染されたのが、大正、昭和の時代は免責してほしいという要望もあります。土地の場合どこまで掘って昭和か、仕切るのが難しくこれは現実的ではないと思います。

### 事務局運営、減資対策

**木村委員長** 最後に事務局の運営について伺います。事務局体制の刷新が図られ、就業規則も時代にマッチしたものに改正

しましたが、その後の経過は如何ですか。  
**大村理事長** 一昨年、就業規則を改定しましたが、退職金については昨年12月に職員との話合いも終り、労働基準監督署にも届出を済ませました。退職金については理事会で承認されたとおり、ポイント制を実施します。その他の細かい諸規則等は総財務委員会にかけて、検討をお願いすることになります。取り敢えず大きな懸案は昨年末で終了しました。

**木村委員長** 不況下で組合員の脱退が続いていますが、出資金の減資対策も理事会で承認されましたが、今後の方向についてお願いします。

**大村理事長** 理事会で、脱退者出資金の負担を各支部単位にお願いすることが承認されています。各支部毎に、1社ずつ分けるのか、城南支部の場合、木村常任理事と中澤支部長が全部持ってこいというのであれば他の組合員さんに負担をかけずに済みますが、それは支部の自由です。支部単位で検討をお願いします。また、その都度出資証券を発行していると、細かい証券が沢山出来て事務処理も大変なことになりますから、5年ごとか理事長任期のいずれかで証券を発行し、その間預かり証を発行することなどを総財務委員会で検討頂いています。預かり証は組合に台帳がありますから間違いありません。3月末までには案をまとめ理事会に提出して了解を得ることになると思います。

**木村委員長** 長時間にわたりご協力有り難うございます。今年はいくらかでも景気が良くなり、組合のみなさんも安心して事業が続けられるよう願っています。

**大村理事長** 本当に厳しい年となるかと思いますが、なお一層組合事業に対して組合員みなさまのご支援ご協力を願ひ申し上げます。

## 大村理事長日誌



### 12月

- 3日(月)正副理事長会  
深谷隆司前通産大臣セミナー
- 4日(火)健保組合打合せ、環境委員会
- 6日(木)工組事務局打合せ

- 6日(木)総財務委員会
- 7日(金)石原都知事昼食会  
広報委員会
- 10日(月)三宅茂樹都議セミナー
- 11日(火)健保組合打合せ  
健保組合運営委員会
- 13日(木)健保組合打合せ
- 14日(金)全鍍連・経産省・環境省と土壌汚染問題打合せ  
公防協組運営委員会  
公防協組委託先業者懇談会
- 17日(月)健保打合せ、基金打合せ  
小杉隆前文部大臣セミナー  
正副理事長会
- 18日(火)健保組合理事会  
厚生年金基金理事会
- 21日(金)石崎前健保理事長と打合せ
- 26日(水)保坂三蔵参議員セミナー
- 29日(土)広報新春対談

## ～組合・関連団体行事予定～

- 2月2日(土)城南連合支部新年会(熱海)
- 2月2日(土)訓練校技能照査実技
- 2月4日(月)広報委員会
- 2月4日(月)監事会
- 2月5日(火)環境委員会
- 2月6日(水)正副理事長会・理事会
- 2月12日(火)訓練校技能照査学科
- 3月1日(金)訓練校成績判定会議
- 3月5日(火)環境委員会  
全鍍連環境対策委員会
- 3月6日(水)正副理事長会・合同会
- 3月7日(木)全鍍連広報委員会
- 3月13日(水)全鍍連技術委員会
- 3月14日(木)全鍍連近代化推進委員会
- 3月15日(金)訓練校修了式
- 3月15日(金)全鍍連国際委員会
- 3月26日(火)訓練校素養調査
- 4月3日(水)正副理事長会  
決算理事会
- 4月4日(木)広報委員会
- 4月5日(金)訓練校入校式
- 4月23日(火)環境委員会  
全鍍連総務委員会
- 4月24日(水)監事会
- 5月7日(火)正副理事長会  
決算理事会
- 5月8日(水)決算監事会
- 5月24日(金)総代会
- 5月29日(水)全鍍連常任理事会・総会・  
理事会

## 《組合ホームページをリニューアルいたしました》

一月より組合ホームページが新しくなりました。

新しいアドレスは <http://www.tmk.or.jp> 新しいホームページは、次のことが変わりました。

### トップページに

1. 「今週の言葉」欄ができました。現在のところ毎週、理事長・副理事長に書いていただきます。
2. 「組合からのお知らせ」欄ができました。組合から最新のお知らせやニュースをお届けします。
3. トップページの左側にメニュー欄を作りました。これでホームページが読みやすくなりました。
4. めっき関連のホームページのリンク集を作りました。  
リンクしたホームページは以下の分野です。簡単な解説をつけてありますのでご利用ください（各種の届出書式がホームページから取れます）。  
今後もホームページのリンクをふやし、この欄を充実させます。
  - ① 環境、安全関連
  - ② 鉛フリー関連
  - ③ 官庁（各種助成制度・振興プラン）
  - ④ 各地の工業技術センター
  - ⑤ 電子商取引
  - ⑥ 表面処理関連
  - ⑦ 海外の表面処理関連の英文サイト
  - ⑧ その他のビジネス関連のサイト
5. めっき関連データ集をのせました。膨大なデータ集なので使って便利なページです。ご利用ください。自慢の出来るページです。  
さらに、文献集も企画しております。ご希望をお寄せください。
6. 「めっき掲示板」を新設いたしました。  
レスポンス形式（一つの発言について、追記や回答ができる）の掲示板を作りました。  
この掲示板は匿名にいたしました。自由な発言を求めます。  
「めっき掲示板」を作った目的は、経営から技術までの質問や、日ごろ感じていることなどを自由に書いていただき、大げさですが、めっきに携わる人たちのよりどころにしたいと考えるからです。アクセス数が増えた場合は、テーマ別のフォーラム形式も考えております。
7. 組合事務局の担当者アドレスを載せました。連絡が便利になります。  
以上、簡単ですが当組合ホームページの紹介をいたしました。

**皆様から当ホームページへの積極的なご提案、ご意見をお待ちしております。**

# めっき技能検定受検のご案内

東京都鍍金工業組合

平成14年度の技能検定（前期）めっき1級・2級が下記のとおり実施されます。受検希望の方は受検申請書等を送付しますので下記によりお申込下さい。

特級技能検定は平成15年2月頃に実施されますので、ご希望の方は今回の受検希望に合わせてお知らせいただければ、平成14年9月頃に受検申請書をお送りいたします。

技能検定とは、職業能力開発促進法に基づき、生涯をとおしてそれぞれの段階で、受検者の皆さんがもっている技能の程度を一定の基準によって検定することにより、皆さんの技能が一層みがかれ、又皆さんの社会的・経済的地位の向上を図ることを目的とした国家検定制度です。

この技能検定は、特級・1級・2級に区分し、それぞれ学科試験と実技試験とによって実施します。技能検定に合格した者には、特級・1級は労働大臣名の、2級は東京都知事名の合格証書と技能士章が交付され、職業能力開発促進法に基づいて「技能士」と称することができます。

## 記

### 1. 試験要領

実技試験 期日：平成14年7月下旬

（課題説明会 平成14年7月上旬）

会場：めっきセンター（文京区湯島1-11-10）

概要：1級 次に掲げる作業試験を行う。（試験時間：3時間）

- (1) 掲示されたサンプルにより研磨工程の判定を行う。
- (2) 鋼板にニッケル・クロムめっきをする。
- (3) 鋼板に亜鉛めっき・クロメート処理を行う。
- (4) 不調めっき液を分析調節し、ハルセルテストを行う。

2級 次に掲げる作業試験を行う。（試験時間：1時間55分）

- (1) 鋼板にニッケル・クロムめっきをする。
- (2) 鋼板に亜鉛めっき・クロメート処理を行う。
- (3) 酸及びアルカリの中和滴定を行う。

※ 試験内容・時間については変更もあります。

学科試験 期日：平成14年9月上旬の日曜日 午前9：30頃から

会場：未定

2. 受検手数料 実技試験 15,700円（予定） 学科試験 3,100円（予定）

3. 協力金 実技受検者は手数料の他に次の協力金を徴収致します。

東京都鍍金工業組合員事業所：6,000円 その他：12,000円

4. 受検資格 試験の免除（めっき学校修了生の方、2級学科試験免除）

受検案内をご参照下さい。

5. 受検受付 受検申請書，受検手数料，資格免除の証明書等をご提出下さい。

- 
- \*東京都職業能力開発協会は平成14年4月上旬
  - \*東京都鍍金工業組合では3月下旬まで受け付けます。
  - \*特級技能検定試験申込の方も合わせてお申し込みください。(平成14年9月まで随時受付中)

6. 申込方法 受検ご希望の方には、受検案内、受検申請書を送付しますので、組合事務局までお申込下さい。ご不明の点があればお電話下さい。

東京都鍍金工業組合 事務局 総務課 電 話：03(3814)5621

F A X：03(3816)6166

---

## 中国・深圳・東莞視察団・参加者募集

東京都鍍金工業組合では、来る3月21日(木)～24日(日)の4日間の日程で、深圳(シエ)・東莞(トカソ)を中心とした中国めっき事情の視察旅行を実施します。

同視察では、最近著しい発展を見せている中国・深圳・東莞地区の表面処理産業の実情と市場動向を視察する目的で実施するもので、ただいま東京都鍍金工業組合ではその参加者を募集しています。本視察の趣旨にご賛同の方の積極的な参加をお待ちしています。

### 記

1. 視察日程 平成14年3月21日(木)～24日(日) 4日間
2. 視察経路 1日目(3/21) 東京(成田)発→香港着→深圳着  
2日目(3/22) 深圳市及び東莞市内工場見学、その他  
3日目(3/23) 深圳市内見学、香港着  
4日目(3/24) 香港市内見学、香港発→東京(成田)着
3. 視察経費 総経費 約190,000円  
なお、視察先、利用ホテルは、現在確定していませんので、視察費用の若干の改定があります。
4. 募集人員 参加者20名予定(募集中)
5. 参加申込方法  
所定の申込み用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXで東京都鍍金工業組合事務局まで、申し込んでください。
6. 申込期限 平成14年1月31日(木)まで  
参加申込みをされた方々には追って詳しい視察内容をお知らせいたします。
7. お問合せ 東京都鍍金工業組合事務局  
電 話03(3814)5621  
F A X 03(3816)6166



# 東鍍工組高等職訓校第 33 期訓練生募集

## 本校の特色

1. 職業能力開発促進法にもとづく、「めっき技術」の全国唯一の認定職業訓練校で、専門教育機関として、永い歴史があります。
2. 現場にすぐ役立つ教育をモットーとし、業界に必要とされる資格取得への道が開かれています。
3. 現場の知識・経験の豊富なすぐれた講師陣を配備し基礎から応用にいたるまで、親切丁寧にわかりやすく教育します。
4. 基礎から専攻へと、先約された時間内に最大限の「実技訓練」を取入れています。
5. 授業にビデオ・スライド・OHP等の視聴覚教育機器を活用して教育効果の向上につとめています。
6. 教科書のほかに豊富な資料を用いて効果的な教育を行っています。

## 修了生には、多くの特典があります。

- (1) 技能照査(学科、実技試験)の合格者に対して東京都知事により合格証並びに技能士補の称号が授与されます。
- (2) この合格書は国家検定である技能検定 2 級の学科試験の免除が受けられます。
- (3) 東京都 1. 種公害防止管理者の資格が得られます。
- (4) 特定化学物質等作業主任者及び有機溶剤作業主任者の資格が得られます。
- (5) 粉じん作業の特別教育修了証(受講者)が交付されます。
- (6) 職業訓練指導員(めっき科)免許取得講習受講資格の実務経験年数が 15 年から 7 年に短縮されます。

	<b>募集概要</b>	<b>国内留学制度</b>
<b>募集科目</b>	金属表面処理系めっき科	東京都以外の道府県に所在するめっき事業所に勤めていて通学が困難な方やめっき会社に勤めていないが、めっき技術を学びたい方のために、当訓練校で修学する便宜(東京の組合員事業所に勤務など)をはかる制度です。
<b>募集人員</b>	40名(先着順による)	
<b>訓練期間</b>	1年間(毎年4月～3月)	
<b>訓練日時</b>	毎週 火、金曜日(午後2時～7時30分) 但し実技は8時20分、特別科目は9時迄	
<b>入校資格</b>	高卒以上または同程度の学力のある方	
<b>費用</b>	年額 346,100 円 費用納入は入校時、6月末、9月末、12月末の4回に分納します。	
<b>募集期間</b>	毎年1月～3月	<b>無料一日体験入学</b>
<b>その他</b>	訓練校の主旨に賛同いただけただけの方であれば資格は問いません。 申込順に授業に支障をきたさない範囲で許可します。 聴講生制度があります。聴講料は有料。	入校を検討中だが、カリキュラムの内容や校内の雰囲気を知りたいと希望される方のための体験入学制度です。学科カリキュラムの説明を受けたり、授業参観で、1年間の勉強内容が良くわかります。個別のご相談もお受けします。

# 2月 高等職業訓練校授業案内

授業日(火・金) 授業時間(A:14:00～16:40 B:16:50～19:30 C:16:50～20:20)				
日	曜	時	科 目	内 容(予 定)
1	金	A	原価管理② (生産工学概論)	加工高工場対策、標準原価算定法、加工原価、価値分析等。 平和工業㈱ 内藤雅文
		B	生産管理 (生産工学概論)	ニッケルめっきのめっき時間と膜厚。 <b>技能照査実技試験の実施 方法と補足説明。</b> 東京都鍍金工業組合環研 長嶋政人
2	土	1 日	技能照査実技試験	【技能照査の実技試験実施】 東京都鍍金工業組合教育委員会、環研他
5	火	A	皮膜試験① (めっき法)	試験の概要、皮膜の概観、耐食性、厚さ、密着性当。 東京都立産業技術研究所 水元 和成
		B	皮膜試験② (めっき法)	耐久試験及び密着性私権の種類、特長、方法、選択、耐磨耗性 試験等。 東京都立産業技術研究所 水元 和成
8	金	A	機器分析① (排水分析)	排水分析に関する機器分析その1。技能照査学科説明。 【定期試験④】 高等職業訓練校 神戸 徳蔵
		C	実技(応用1)	各班によるテストピースの作製。 東京都立産業技術研究所 土井 正、環研
12	火	A	機器分析② (排水分析)	排水分析に関する機器分析その2。 【技能照査学科試験】 高等職業訓練校 神戸 徳蔵
		C	実技(応用2)	各班によるテストピースの作製。 東京都立産業技術研究所 水元 和成 環研
15	金	A	廃液処理 (廃水処理)	熱加水分解法による濃厚シアン廃液処理方法。 (有)アクアテック 大西彬總
		C	実技(応用3)	各班によるテストピースの作製。 東京都立産業技術研究所 土井 正、環研
19	火	A	3価のクロムめっき (特別講演)	3価のクロムめっき浴からのクロムの析出とめっき皮膜の特 性 明盛鍍金工業㈱ 高倉 利守
		C	実技(基本1)	各班毎に各種の試験及び測定。 東京都立産業技術研究所 水元 和成 環研
22	金	A	めっきの原価管理 (特別講演)	パソコンを利用しためっきの原価計算方法 ㈱東電工舎 山田英佐夫
		C	実技(基本2)	めっき厚さ(顕微鏡)、熱衝撃試験等。 東京都立産業技術研究所 水元 和成 環研
26	火	A	めっきの不良対策 (特別講演)	各種めっき液の不良対策の方法について 高等職業訓練校 神戸徳蔵
		C	実技(基本3)	耐磨耗性試験、塩水噴霧試験など。 東京都立産業技術研究所 古沢寛子、環研

## ■ 亜鉛部会

### 研修会、懇親会

東京都鍍金工業組合亜鉛めっき部会は去る平成13年11月17日(土)から18日(日)にかけ、石和温泉ホテル千石において、参加者16名にて研修会及び懇親会を行った。

当初工場見学を予定しており、数社に見学を打診したが、時節柄土曜日に稼動していて、かつ、見学ができる工場を探す事ができなかった。そのため今回は研修会を行うこととし、テーマを以下のよう

1. 国内製造業の空洞化
2. ノンクロム対策の現状

これらのテーマについて、輪講形式で持ち寄った資料をもとに意見、及び情報の交換が行われた。

国内製造業の空洞化についてはやはり国内企業の海外進出、特に中国進出の影響を各事業所がかなり大きく受けており、その現状またそれにどう対応していくか、等が話題となった。

ノンクロム対策については亜鉛部会主催にて、平成13年10月10日に行われた「ノンクロム対策の現状と今後の動向について その2」と題する講演会についてその内容と各事業所の顧客の現状についての、情報交換という形で行われた。

議演会の様子ではもうすぐにでも、国内メーカー数社は六価クロムを使用しない亜鉛めっきのクロメート処理を実現しようとする動きであつたが、当日見たサ



ンプルの外観で顧客が果たして納得するのであろうか。またやや上昇するであろうコストに関してどのように対処していくのか、等が話題にのぼり活発な意見交換が行われた。

その後場所を宴会場に移し、野上栄一会長、大村功作理事長から一言挨拶をいただいたあと、太田寿一氏の乾杯発声のあと懇親会が盛大かつ賑やかに行われた。

(文・写真 中村昭人(株)渡辺鍍金工場)

## ■十日会

### 忘年会

十日会(仲俣雅行会長)は12月19日(水)午後7時より湯島の東京ガーデンパレス内つきじ植むら「梅里」で会員38名が出席して忘年会を開催した。

菊地利博副会長の司会により仲俣会長は「みなさんのご協力をもって今年1年十日会活動も無事終了することができたことをお礼申し上げます。昨年のこの席で、大変厳しい状況だが、これが普通の状態なんだという認識をもたないと難しいという話をしたが、今に入りその普通以下の状況が続いており、この先10年製造業はどうなるのか、10%くらいになるという話もある中、来年以降我々が生き残っていくにはもう一歩踏み込んでいく必要があります、あるいは新しい道を進むにしても正確な判断力が必要になってくる。本日もご参会のみなさんには来年以降も頑張

って生き残っていただきたい。明るい話題を1つ、先月役員の大田幸一氏が八幡先輩の仲人のもと立派な華燭の典を挙げられ、心よりお祝い申し上げる。本日は名誉会員の村楨先生、新入会員の大啓さんがみえており、後程ご挨拶を頂きたい」と開会の挨拶をした。

日本鍍金協会・石川雅一会長は「今年1年大変厳しかったが、大手のお客さんも、どうしてよいかわからないという状況で、来年からとんでもなく悪くなるといわれており、我々も禪を締め直して頑張っていきたい。今日は今年の嫌なことを忘れて忘年会本来の形で楽しんで頂きたい」と述べて、乾杯の音頭をとった。

和やかな歓談が進む中、村楨先生が、世界の動きとしてアメリカ型のマネジメントが世界に広がりつつあるなどの世界情勢を含めた挨拶があり、新入会員の 大啓・南社長から自己紹介が行われた。また、歴代会長のスピーチがあり、山田英佐夫元会長の中締めにより終了した。





明けましておめでとうございます



# 謹賀新年

平成14年 元旦

東京都鍍金工業組合	大村 功作
東京鍍金公害防止協同組合	大村 功作
北海道鍍金工業組合	手塚 孝雄
東北表面処理工業組合	鈴木喜代壽
茨城県鍍金工業組合	溝口 輝明
栃木県鍍金工業組合	熊倉知三郎
群馬県鍍金工業組合	入江 宏
埼玉県鍍金工業組合	吉田 勇
千葉県鍍金工業組合	柴崎 三郎
神奈川県メッキ工業組合	大山 剛敬
山梨県鍍金工業組合	古守 三郎
長野県鍍金工業組合	原 互
新潟県鍍金工業組合	井筒 昇
静岡県鍍金工業組合	鈴木 安市
愛知県鍍金工業組合	笹野不二夫
岐阜県鍍金工業組合	杉山 博之
三重県鍍金工業組合	服部 一彌
富山県鍍金工業組合	梅田 秀雄
石川県鍍金工業組合	浅下 昭彦
福井県表面処理工業組合	清川 忠
京都府鍍金工業組合	山本 勲
大阪府鍍金工業組合	渡邊 正勝
兵庫県鍍金工業組合	藤井 正隆
岡山県鍍金工業組合	難波 正義
広島県鍍金工業組合	新谷 哲章
山口県鍍金工業組合	東 佳範
山陰地区鍍金工業組合	木下 義章
四国鍍金工業組合	上村 豊
九州めっき工業組合	中島 清



荏原ユーザライト株式会社

代表取締役社長 粕谷 佳允

本社 電話 03 (3833) 0321(代)  
営業本部 電話 03 (3835) 2951(代)

株式会社 昭和鉛鉄

代表取締役 高安 清澄

東京/台東区東上野3-15-3・TEL 3834-5471(代)  
<http://www.spf.co.jp/>  
名古屋, 大阪, 広島, 高崎, 台湾, オランダ, 米国

表面処理装置のメーカー

株式会社 野坂電機

代表取締役 野坂 秀夫

東京都大田区京浜島2-2-2  
電話 (3790) 1531(代)  
FAX (3790) 0224

JASCO 日本表面化学株式会社

代表取締役 柳川 司行

東京都新宿区市谷本村町2-11  
外濠スカイビル  
電話 (03) 3268-6881(代)

株式会社 中サイ

代表取締役 高木 勲

本社 東京都中央区日本橋小伝馬町9-10  
☎ 03-3662-8871(代) FAX 03-3661-8636





明けましておめでとうございます



## 三明明成株式会社

取締役社長 木村 壽

本社 東京都品川区大崎1-2-15  
 川崎営業所 03(3490)3031(代)  
 相模原営業所 044(333)3031(代)  
 北関東営業所 0427(57)0111(代)  
 岩手営業所 0276(75)3031(代)  
 山梨営業所 0197(22)5351(代)  
 福島営業所 0551(25)4331(代)  
 福島サービスセンター 0245(57)8666(代)  
 三明明成国際有限公司 0533(89)5943  
 香港(852)2412-2882

## 株式会社 中央製作所

東京支店

支店長 山本 信三

〒142-0041 東京都品川区戸越3-1-18  
 第百生命ビル5階  
 TEL 03(3788)1571(代表)

## 奥野製薬工業株式会社

代表取締役社長 奥野 和義

本社 電話 (06) 6203-0721  
 東京支店 電話 (03) 3912-9241  
 名古屋支店 電話 (052) 871-1601  
 大阪営業部 電話 (06) 6968-6931

電力用半導体と応用電源機器

## 株式会社 三社電機製作所

取締役社長 四方 邦夫

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路3-1-56  
 電話 06-6321-0321

## 関東めっき健康保険組合

理事長 大村 功作  
 役員 事務局一同

〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目11番10号  
 電話 (03)3813-5916(代) FAX (03)3813-5363

## キャピエム株式会社

代表取締役 小松 康宏

本社 東京都台東区東上野1-28-9  
 電話 03-3832-6281(代)  
 長野営業所 長野県上伊那郡辰野町平出1198  
 電話 0266-41-2025(代)

## 関東鍍金工業厚生年金基金

理事長 大村 功作  
 役員一同  
 事務局一同

〒113-0034 東京都文京区湯島1-11-10 めっきセンター  
 電話 3814-2736  
 FAX 3814-2752

## 森幸鍍金材料株式会社

取締役社長 倉田 裕理子

東京都港区浜松町2丁目12番9号  
 ☎ 3434-7311(代)  
 事業本部 大田区京浜島2-2-3  
 ☎ 3790-1081~6



代表取締役

金 森 三 郎

## デッドソール株式会社

東京都中央区京橋3-2-17戸枝ビル TEL(03)3281-0231(代)

## 大原研材株式会社

代表取締役 大原 冬み子

東京都葛飾区宝町1-3-11  
 電話 3697-3241(代)  
 FAX 3697-8915



明けましておめでとうございます



<p><b>株式会社 三 松</b></p> <p>代表取締役 社 長 村 松 泰 直</p> <p>本 社 東京都大田区西蒲田 7-57-11 電 話 03-3733-7131(代)</p> <p>湘南営業所 藤沢市辻堂西海岸 2-14-45 電 話 0466-34-1711(代)</p> <p>横浜営業所 横浜市神奈川区恵比須町 7-5 電 話 045-461-6088(代)</p>	<p><b>関東金誠株式会社</b></p> <p>取締役社長 國 井 昭 宏</p> <p>〒123-0844 東京都足立区興野 1-14-19 電 話 (03) 3852-7221 FAX (03) 3852-7224</p>
<p><b>株式会社 メイシン</b></p> <p>取締役社長 吉 田 隆 男</p> <p>従業員一同</p> <p>〒175-0094 東京都板橋区成増 2-8-2 TEL 03 (3975) 3941 FAX 03 (3977) 6200</p>	<p><b>ACCア-フ</b></p> <p>取締役社長 老 田 光 之</p> <p> <b>株式会社 ASABA</b></p> <p>本 社 東京都新宿区本塚町 23番地 電 話 (03) 3358-3466(代)</p> <p>新潟工場 新潟県刈羽郡西山町坂田 西山工業団地 電 話 (0257) 48-2888</p>
<p><b>UEMURA</b></p> <p><b>株式会社 上 村</b></p> <p>代表取締役 上 村 福 子</p> <p>本 社 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-10-5 TEL 03-3839-7790</p> <p>営業所 〒114-0001 東京都北区東十条 3-8-13 TEL 03-5390-2874(代) FAX 03-5390-2875</p>	<p> 工場廃水設備 設計 施工  自動鍍金装置 メンテナンス</p> <p>株式会社 エス・ティーエンジニアリング</p> <p>代表取締役 笹 亘 男</p> <p>東京都西東京市西原町 3 の 7 B-315 電 話 (0424) 67-8455 FAX (0424) 64-1718</p>
<p>株式 会社 <b>西山脩次商店</b></p> <p>代表取締役 西 山 敏 三</p> <p>東京都墨田区立花 5丁目 1-3 電 話 (3613) 1621(代表) FAX (3613) 1680</p>	<p>(有) <b>神田鍍研材商店</b></p> <p>代 表 取締 役 木 村 逸 作</p> <p>〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 6-56-11 電 話 3807-0181(代)</p>
<p>(株) <b>山本鍍金試験器</b></p> <p>技術開発 取締 役 <b>山 本 渡</b></p> <p>東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-28-1 JR代々木駅下車3分 TEL 03-3352-2475 FAX 03-3350-0775 E-mail info@yamamoto-ms.co.jp URL http://www.yamamoto-ms.co.jp</p>	<p>水質の簡易分析製品 共立 <b>パワテスト</b></p> <p>株式会社 <b>共立理化学研究所</b></p> <p>代表取締役 岡 内 完 治</p> <p>〒145-0071 東京都大田区田園調布 5-37-11 電 話 (03) 3721-9207(代) FAX (03) 3721-0666</p>



明けましておめでとうございます



表面処理の新時代を追求する



株式会社 SHIMIZU CO., LTD.

代表取締役 清水喜芳

〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-9-18  
TEL (06) 6971-3888  
FAX (06) 6974-3801  
<http://www.shimizu-corp.co.jp>

## 総合メッキ材料商社

株式会社 寺内商店

代表取締役 寺内倉治

東京都葛飾区東立石3-10-7  
電話 3692-0513(代)

## 株式会社 高岡

代表取締役 高岡幸雄

本社 東京都大田区千鳥2丁目1番12号  
〒146-0083 ☎03(3756)1211(大代)  
営業所 北上・仙台・山形・郡山・秋田

鍍金研磨材料・化粧品原料・化学薬品

## 東信油化工業株式会社

代表取締役 松本則男

東京都杉並区和田3-53-10  
☎(3313)5531 代表~3  
FAX(3315)5515

技術とシステムで新しい価値を提案します



代表取締役 山口勝治

本社・工場・研究室 埼玉県川口市東領家2丁目37番18号  
〒332-0003 ☎048(223)6786(代表) FAX 048(223)7714

金属表面処理剤・工業用薬品・鍍金設備全般・印刷材料

## 二幸産業株式会社

代表取締役 土屋博

〒182-0011 東京都調布市深大寺北町3-7-1  
電話 (0424) 85-0711(代)  
FAX (0424) 85-0712

金属表面処理剤 **ニシンケイ**

## 中央化学株式会社

代表取締役 三崎将譽

本社 東大阪市水走5丁目3番11号  
TEL (0729) 62-1937 番代  
東京営業所 東京都世田谷区北烏山1丁目48番24号  
TEL (03) 3308-0501 番  
中部営業所 三重県伊都郡大安町平塚1880番地  
TEL (0594) 78-2471 番

貴金属被覆チタン電極・貴金属めっき薬品  
貴金属薬品・回収・精製・加工

## 日進化成株式会社

<http://www.nissinkasei.com/>  
東京都足立区千住河原町11番5号  
電話 03(3888)1181  
FAX 03(3870)2121



鍍金電解用シリコン整流器  
高速パルスPR電源

株式会社 千代田

取締役社長 佐藤健一

〒335-0005 埼玉県蕨市錦町1-3-11  
電話 048-432-5580  
FAX 048-432-5941

## 日本化学産業株式会社

代表取締役社長 吉田継男

本社 東京都台東区下谷2-20-5  
電話 3876-3131(代表)





明けましておめでとうございます



## 日本化学工業株式会社

取締役社長 棚橋 純一

東京都江東区亀戸 9-11-1  
電話 (03) 3636-8111  
http://www.nippon-chem.co.jp

## 室町金属株式会社

取締役社長 岩川 重雄

本社 東京都千代田区神田神保町 2-14-3  
電話 3263-1611(代) FAX 3237-7394  
工場 川崎市川崎区京町 2-8-8  
電話 044-355-6311(代)  
FAX 044-333-1967

## 日本リーオナル株式会社

代表取締役社長 イーヒョン ペイク

本社 東京都千代田区三番町6-3(三番町UFビル)  
TEL 03 (3221) 7151  
研究部 さいたま市吉野町 2丁目269-4  
TEL 048 (665) 2004

## ユケン工業株式会社

代表取締役 犬塚 昌夫

〒448-8511 愛知県刈谷市野田町場割50  
電話 0566(21)7311(代)

## 日本鍍金材料協同組合

理事長 小松 康宏

東京都中央区日本橋茅場町 2-13-8  
(〒103-0025) 電話03-3666-2416(代)

## 横浜木村鍍研材株式会社

代表取締役 木村 幸平

〒230-0031 横浜市鶴見区平安町 1-39-5  
電話 (045) 521-5761(代)  
FAX (045) 504-2642

## 日本電工株式会社

代表取締役社長 高橋 啓悟

〒104-8112 東京都中央区銀座2-11-8  
電話 03-3546-9333  
FAX 03-3546-9607

## MAMIYA

## 株式会社 マミヤ

代表取締役 間宮 勝

本社 〒131-0041 東京都墨田区八広 1-31-11  
TEL 03(3611)4121(代表)  
FAX 03(3618)0381  
倉庫 〒131-0041 東京都墨田区八広 3-3-6





明けましておめでとうございます



# 東京都鍍金工業組合

〒113-0034 東京都文京区湯島1-11-10  
TEL03(3814)5621 FAX03(3816)6166

# 東京鍍金公害防止協同組合

〒144-0033 東京都大田区東糎谷6-3-1  
TEL03(3743)2256 FAX03(3743)2257

理事長 大村 功作

副理事長 姫野 正弘

副理事長 由田 猛

副理事長 川上 洋一

## 株式会社 都南ビーピー

代表取締役 大村 功作

本社 東京都目黒区上目黒4-5-1  
工場 東京都目黒区上目黒2-45-12  
〒153-0051 TEL 03(3719)8221  
FAX 03(3760)9027

## 京王電化工業株式会社

代表取締役

姫野 正弘

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘3-6-1  
TEL 0424(83)1900

## 株式会社 協和

代表取締役社長 由田 猛

〒170-0013  
本社 東京都豊島区東池袋1丁目7番12号(日産ビル)  
TEL 03(3986)1591(代) FAX 03(3988)8923  
工場 高崎第1・高崎第2・川越・シンガポール  
マレーシア・タイ・中国

## 合資会社 東亜鍍金工場

代表社員 川上 洋一

〒146-0093  
東京都大田区矢口2丁目32番7号  
TEL 03(3759)3446(代)~8  
FAX 03(3759)3448

## 有限会社 鈴木鍍金工場

代表取締役 鈴木 工匠頭

〒132-0021 東京都江戸川区中央2丁目1番12号  
TEL 03(3655)2904  
FAX 03(3655)2909

## 八幡鍍金工業株式会社

代表取締役 八幡 順一

本社 東京都江戸川区平井5丁目20番9号  
〒132-0035 TEL03(3617)7707 FAX03(3617)7709  
篠崎工場 東京都江戸川区篠崎3丁目33番11号  
〒133-0061 TEL03(3670)2120 FAX03(3670)2062



明けましておめでとうございます



### 有限会社 朝日鍍金工場

代表取締役 **遠藤 清**  
専務取締役 **遠藤 清孝**

〒132-0025 東京都江戸川区松江4-20-11  
TEL 03(3653)3431  
FAX 03(3652)2225

### 東京都鍍金工業組合 城西支部 東京鍍金公害防止協同組合

支部長理事 **元井 民夫**  
副支部長理事 **小橋 秀一**  
副支部長理事 **津田 智宗**

事務局 〒171-0051 東京都豊島区長崎1-15-13  
TEL 03(3973)7923 FAX 03(3554)7809

### 有限会社 元井鍍金工場

代表取締役 **元井 民夫**

〒171-0044 東京都豊島区千早2丁目37番4号  
TEL 03(3973)0056(代)  
03(3973)0057~8  
FAX 03(3974)7324

### 東京都鍍金工業組合 城南支部

支部長 **中澤 敏明**  
副支部長 **伏原 暉幸**  
副支部長 **小谷野英勝**  
役員 一同

城南連合事務局 〒142-0062 東京都品川区小山4-2-4  
(森本ビル 2階)  
TEL 03(3785)0078 FAX 03(3788)1678

### 木村鍍金工業株式会社

代表取締役 **木村 秀利**

〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-12-3  
TEL 03(3491)7653  
FAX 03(3491)4074

### 株式会社 歓鍍金

代表取締役 **中澤 敏明**

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-34-2  
TEL 03(3441)4910  
FAX 03(3441)4640

### 藤田鍍金工業株式会社

代表取締役 **藤田 直人**

〒140-0004 東京都品川区南品川4-17-16  
TEL 03(3474)3563  
FAX 03(3474)3548

### 株式会社 トーテック

代表取締役 **小谷野 英勝**

本社 東京都目黒区下目黒2丁目13番7号  
〒153-0064 TEL 03(3493)0231 FAX 03(3779)5296  
千葉事業所 千葉県香取郡東庄町宮野台1-50 刺工製鋼  
〒289-0623 TEL 0478(87)1120 FAX 0478(87)1018

### 有限会社 伊豆鍍金工業所

取締役 **原 清一**

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-5-1  
TEL 03(3493)0308(代)  
FAX 03(3491)8795

### 有限会社 大森広尾鍍金工場

専務取締役 **志田 和陽**

〒143-0014 東京都大田区大森中1丁目11番5号  
TEL 03(3761)4946  
FAX 03(3761)4991





明けましておめでとうございます



<p><b>平和工業 株式会社</b> 代表取締役 <b>内藤 雅文</b></p> <p>本社 東京都大田区京浜島2丁目2番4号 〒143-0003 TEL03(3790)1031(代) FAX03(3790)2828 川崎工場 神奈川県川崎市川崎区田町2-10-18 〒210-0822 TEL044(276)1728 FAX044(288)5579</p>	<p><b>東京都鍍金工業組合 城北支部</b> 支部長 <b>篠根 健一</b> 副支部長 <b>今泉 好隆</b> 副支部長 <b>猪鼻 与一</b> 副支部長 <b>斉藤 和久</b> 副支部長 <b>須永 操</b> 事務局 東京都荒川区町屋4-13-5 〒116-0001 TEL03(3895)8681 FAX03(3892)0725</p>
<p><b>有限会社 平野メッキ工場</b> 代表取締役 <b>平野 普三雄</b></p> <p>〒116-0012 東京都荒川区東尾久2-3-7 TEL03(3895)5902 FAX03(3809)1966 工場 埼玉県三郷市彦江1-7-1-1 〒341-0058 TEL0489(53)2301 FAX0489(53)2302</p>	<p><b>株式会社 篠根鍍金</b> 代表取締役 <b>篠根 健一</b></p> <p>本社 東京都荒川区東尾久2丁目9番1号 〒116-0012 TEL&amp;FAX03(3895)1759 工場 埼玉県草加市稲荷2丁目12番6号 〒340-0003 TEL0489(31)7675 FAX0489(31)2407</p>
<p><b>野上化学工業 株式会社</b> 代表取締役 <b>野上 榮一</b></p> <p>〒114-0035 東京都北区田端新町1-11-13 TEL03(3894)5195 FAX03(3800)5195 東京工場・名古屋工場・羽生工場</p>	<p><b>株式会社 入谷電鍍所</b> 代表取締役社長 <b>間部 健太郎</b></p> <p>〒110-0012 東京都台東区竜泉1丁目9番3号 TEL 03 (3875) 6146(代) FAX 03 (3875) 6149</p>
<p><b>有限会社 富士友工業所</b> =貴金属メッキ各種= 代表取締役 <b>下平 誠</b></p> <p>〒110-0013 東京都台東区入谷1丁目33番10号 TEL 03 (3872) 4781 FAX 03 (3871) 5959</p>	<p><b>東京都鍍金工業組合</b> <b>中央支部</b> <b>支部員一同</b></p>
<p>東京都鍍金工業組合 足立支部 常任理事 <b>永田 吉輝</b> =組合員の皆様ご利用ください= <b>欧風料理</b> <b>Chez NAGATA</b> 〒121-0824 東京都足立区西伊興町3-7-11 TEL 03-3854-2168</p>	<p><b>株式会社小嶋メッキ工業所</b> 代表取締役社長 <b>小嶋 撰郎</b></p> <p>〒111-0053 東京都台東区浅草橋5丁目10番10号 TEL 03 (3851) 5870(代) FAX 03 (3851) 5882</p>



明けましておめでとうございます



<p><b>株式会社 小澤鍍金工業</b> 代表取締役社長 <b>小澤 栄男</b></p> <p>本社・工場 東京都足立区本木南町7番18 〒123-0855 TEL 03(3848)1812 FAX 03(3848)1835</p>	<p>東京都鍍金工業組合 足立支部 東京鍍金公害防止協同組合</p> <p>支部長 <b>小澤 栄男</b> 副支部長 <b>永田 一雄</b> 副支部長 <b>石川 和男</b> 副支部長 <b>細井 碧</b> 副支部長 <b>橋本 英雄</b></p> <p>〒123- 東京都足立区本木南町7番18(副機室工熟) 0855 TEL 03(3848)1812 FAX 03(3848)1835</p>
<p><b>光陽鍍金 株式会社</b> 代表取締役 <b>菊池 忠男</b></p> <p>〒124-0001 東京都葛飾区小菅3-15-11 TEL 03(3602)6815 FAX 03(3603)1718</p>	<p><b>神谷電化工業株式会社</b> 代表取締役 <b>神谷 博行</b></p> <p>〒124-0012 東京都葛飾区立石2-18-8 TEL 03(3695)1304 FAX 03(3695)1346</p>
<p><b>株式会社 ヒキフネ</b> <b>株式会社 ヒキフネ技研</b> 代表取締役会長 <b>石川 進造</b> 代表取締役社長 <b>石川 輝夫</b></p> <p>〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木2-4-12 TEL 03(3696)1981 FAX 03(3696)4477 hikifune@orange.ifnet.or.jp</p>	<p><b>有限会社 亜鉛鍍金工業西谷</b> 回転アエンメッキ専門 代表取締役 <b>西谷 幸一</b></p> <p>〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩5丁目26番6号 TEL 03(3697)1484 FAX 03(3697)3593</p>
<p><b>大日工業株式会社</b> 代表取締役 <b>小倉 攻一</b></p> <p>〒124-0011 東京都葛飾区四つ木5-16-11 TEL 03(3691)9501 FAX 03(3691)9504</p>	<p>東京都鍍金工業組合 向島支部 支部長 <b>池田 敏則</b> 副支部長 <b>石田 昌久</b> 副支部長 <b>向坪 昭</b> 副支部長 <b>神谷 清勝</b> 副支部長 <b>籠利 達郎</b> 役員 <b>一同</b></p> <p>〒131-0043 東京都墨田区立花5-17-17 TEL03(3617)5779 FAX03(3614)5653</p>
<p><b>株式会社 梅本鍍金</b> 代表取締役 <b>梅本喜四郎</b> 専務取締役 <b>梅本 禎司</b></p> <p>〒131-0043 東京都墨田区立花5-34-11 TEL 03-3611-3202・3619-7531 FAX 03-3611-3206 (HP) <a href="http://homepagel.nifty.com/umemoto-mekki/">http://homepagel.nifty.com/umemoto-mekki/</a> (E-mail) <a href="mailto:BXN01127@nifty.ne.jp">BXN01127@nifty.ne.jp</a></p>	<p><b>株式会社 進光舎鍍金</b> 代表取締役 <b>池田 敏則</b></p> <p>〒131-0041 東京都墨田区八広4-42-7 TEL 03(3612)6975 FAX 03(3612)6945</p>



明けましておめでとうございます



<p><b>墨田硬質クローム鍍金有限会社</b>  <small>代表取締役</small> <b>石崎 勝一</b></p> <p>〒131-0041 東京都墨田区八広4丁目15番11号            TEL 03(3613)3311            FAX 03(3613)3312</p>	<p><b>東京都鍍金工業組合 亜鉛めっき部会</b>  <small>会長</small> <b>野上 榮一</b>  <small>副会長</small> <b>遠藤 清</b>  <small>副会長</small> <b>半田 實</b>  <small>副会長</small> <b>中村 昭人</b>  <small>副会長</small> <b>永田 吉輝</b>  <small>役員</small> <b>一同</b></p> <p>〒113-0034 東京都文京区湯島1-11-10            TEL03(3814)5621 FAX03(3816)6166</p>
<p><b>野田鍍金工業株式会社</b>  <small>専務</small> <b>野田 光昭</b></p> <p>〒130-0021 東京都墨田区緑4-20-16            TEL 03(3634)6661            FAX 03(3634)6662</p>	<p><b>有限会社半田鍍金工業所</b>  <small>代表取締役</small> <b>半田 實</b></p> <p>〒189-0011 東京都東村山市恩多町5-43-14            TEL 0423(93)0960            FAX 0423(98)1977</p>
<p><b>東京都鍍金工業組合 西部支部</b>  <small>支部長</small> <b>田代 政明</b>  <small>副支部長</small> <b>西原 敬一</b>  <small>役員</small> <b>一同</b></p> <p>〒184- 東京都小金井市本町 1-7-1 S Sビル            0004 TEL 042(384)4718            FAX 042(382)8195</p>	<p><b>ニシハラ理工株式会社</b>  <small>代表取締役</small> <b>西原 敬一</b></p> <p>本社・調剤工場 東京都武蔵村山市伊奈平2-1-1            〒208-0023 TEL042(560)4011 FAX042(560)8550            狭山工場 埼玉県入間市狭山ヶ原108            〒358-0032 TEL042(934)6116 FAX042(934)4640            佐賀工場 佐賀県三養基郡上峰町堤2100-34            〒849-0124 TEL0952(53)1215 FAX0952(53)1210</p>
<p><b>株式会社 杉並化学</b>  <small>代表取締役</small> <b>角田 洋久</b></p> <p>〒196-0021 東京都昭島市武蔵野2-9-9            TEL 042(544)1578            FAX 042(544)3415</p>	<p><b>株式会社吉崎メッキ化工所</b>  <small>代表取締役</small> <b>吉崎 一紘</b></p> <p>〒190-0033 東京都立川市一番町4-73-3            TEL 042(531)1242            FAX 042(531)6734</p>
	



# ピックアップ

## プラとの摩擦軽減処理法開発

(13. 12. 21 日刊工業新聞)

千代田第一工業(東京都狛江市 鈴木達雄社長)は、プラスチックと金属の接触部の摩擦を軽減させる金属の表面処理工法を開発した。大手製缶メーカーPETボトルの生産ラインに納入した。PETボトル生産ラインの成形排出工程のガイド部分に表面処理した金属使用、成形したボトルがラインに滞留する問題を解決した。同社ではビデオフィルムなど他のプラスチックの生産ラインにも対応できると見ており、今後メーカーに積極的に働きかけていく。

同表面処理法は、金属の表面を炭化クロムで泡状に20マイクロメートルの厚さでめっき加工する処理法。金属表面に凹凸形状を作り接触面積を最小限に抑えられるため、滑りが良くなる。高密度ではなく離しにくい表面構造で耐摩耗性が高い。

PETボトルの成形排出工程では鏡面加工した金属をガイド部分に使用していたが、接触部分が大きいため、ガイドとPETボトル間の摩擦が増し頻繁に滞留を起こしてしまうのが問題だった。テフロンテープを貼ってスムーズに流す方法もあるが、摩耗が激しいため長期間使用できなかった。また取り換える手間とコスト負担が大きかった。

## 円高にらみ国内生き残り模索

(14. 1. 4 日刊工業新聞)

「自動車工場が日本から逃げ出す？」。日米貿易摩擦の過熱から米国で始まった

生産拠点の進出が、アジア、西欧、東欧と徐々に輪を広げている。とりわけ中国は2001年末の世界貿易機関(WTO)加盟で、「世界の工場」としての役割を果たしそうだ。しかし雇用吸収力が高い自動車産業が国内から消えるようなことがあれば、失業率は急上昇してしまう。その一方で、「競争に生き残れない企業、産地は消えるのみ」というのも冷徹な事実。国内自動車メーカーも海外に負けない生産体制づくりに乗り出している。

「国内車メーカーは雇用を安定的に考えている」と、奥田碩日本自動車工業会(自工会)会長は言う。「トヨタ自動車では最低300万台は日本で作れ、プラスアルファは海外で生産しろということになっている」とも。トヨタの場合、ハイブリッド車など構造が複雑で、高い品質を要求される製品は国内生産が主力となる。人件費など海外に比べて割高なコストを吸収できる高付加価値商品で国内生き残りをかける。2輪車を生産するホンダ、ヤマハ発動機、スズキなども同じ戦略だ。

自動車の海外生産が増加の一途を辿り、一方で国内生産の縮小が続いている。国内の空洞化は雇用に影を落とし、輸出の減少は貿易立国・日本の根幹を揺るがしかねない。しかし自動車メーカーにとっては業績を大きく左右する為替リスクの低減や、経済のグローバル化に対応した『現地企業化』に向けた当然の選択。「海外生産を拡大しても子会社からの配当やロイヤルティーで日本に富はもたらされる」(吉野浩行ホンダ社長)といった意見も出ている。日本の自動車産業はどんな未来像を想定しているのだろうか。

2001年に新たに稼働した海外工場は、トヨタ自動車のフランス工場(年間生産能力15万台)、ホンダの英国第2工場(同

---

---

10万台)と米アラバマ工場(同15万台)のほか、日産自動車も米スマーナ工場の能力増強に着手し、将来的に12万台増の年50万台を計画し

ている。今後も中国を中心とした能力増強が続き、トヨタは02年に天津工場(同3万台)を稼働、ホンダは03年度に中国工場の能力を年5万台から12万台に引き上げるほか、マレーシアとインドネシアで年2万台の新工場を稼働する計画だ。

一方で国内の生産拠点は日産が昨年3月で村山など3工場を閉鎖、3割減の年165万台体制としたほか、9月には三菱自動車工業が大江工場(同22万台)を閉鎖、マツダも宇品第2工場(同26万台)の停止を進めている。『勝ち組』でもトヨタがバブル期の年400万台から300万-350万台体制にスリム化、ホンダも「フィット」の好調で生産能力が逼迫するなかでも年120万台体制を堅持する方針を崩さない。

海外シフトで先行するホンダと日産はすでに内外の生産比率が均等で、ホンダは03年度に海外生産比率が6割まで高まる。最も遅れていたマツダも03年の次期「デミオ」を皮切りにフォードの欧州工場を利用、将来的に年10万台を生産委託する計画で「欧州販売分の3分の1が現地生産になる」(マーク・フィールズ社長)という。現在、日本の自動車生産は年1000万台規模で400万台を輸出しているが、このまま進めば「国内生産600万台時代」を迎える可能性を否定できない。

### 空洞化阻止へ正念場

(14. 1. 8 日刊工業新聞)

低迷著しい日本経済。2002年も厳しい状況がしばらく続きそうだが、怖いのはその間にじわじわと進む産業の空洞化だ。

その対応策として、電力・物流費など高コスト構造の是正や生産現場でのコスト削減努力が緊急の課題となっている。ただ、それと同時に大事なものは、産業の高度化と新しいサービス産業の創出など雇用吸収のための仕組みをどうやって作り出していくかということ。構造改革の「痛み」に耐えるばかりでは展望は生まれない。自律的な産業再生に向け、正念場の年を迎えている。

「中国と同じ土俵で戦おうと思ってもどだい無理な話。日本企業はコストの部分ばかり見て、委縮しすぎなのではないか」一。経済産業省の幹部は後ろ向きのリストラに追われ、「中国脅威論」の前に弱気になっている日本企業の姿勢を嘆く。昨年末、世界貿易機関(WTO)に加盟した中国が、安い労働力と高い技術力を背景に、「世界の工場」の地位を一層強固なものにしていくのは間違いない。問題は日本企業、中国企業の協調・すみ分けの仕方だろう。

経営者にとって激的なコスト競争に打ち勝つためには、「ユニクロ」に象徴されるように、コストの安い国や地域でモノを作ることは、合理的なやり方。世界市場をにらんで、部品や製品製造の拠点地域として活用していくのは企業として当然の成り行きといえる。コストで勝負できないものは海外拠点をうまく活用するとして、国内で帳じりが合う分野の加工・組み立て部門は、これまで以上の合理化が不可欠。製造現場の作業員1人ひとりが一か所でさまざまな作業をこなす「セル型生産システム」の活用や、ITを駆使した設計・調達面での一層の改善などがカギとなる。



## 城北支部の巻

### —日暮里繊維街はしっかり生き抜いている—

情報革命だ、流通革命だ、はては構造改革だとか、やけに革命、改革が連呼される時代です。その陰で激しい淘汰が行われています。卸問屋も、そんな淘汰の波に洗われています。しかし、荒川区にある日暮里繊維卸問屋街はしっかり生き抜いていました。それも、以前にも増して活気があふれていました。

もともと、浅草周辺で古布などを扱っていた業者が、行政指導で日暮里に集団移転したのが始まりだそうです。当時はもちろん卸専門でしたが、約20年前に文化服装学院の先生から、生地を生徒に小売りしてほしいと頼まれてから、はかり売りするようになったのが始まりです。次第に日暮里の生地問屋は小売りもOKとクチコミが広がって、今の小売り主体の興隆の下地ができました。しかし地元荒川では、まだまだハギレ問屋というイメージがありました。

平成バブルの崩壊後は、激安ブームによって主に服飾に関心のある学生、主婦の方に益々人気を博して来ました。そして、服飾関係の学校とタイアップしたファッションショーや、世界的に有名なパリコレクション(パリコレ)をもじったニポコレデザインコンテストを東京日暮里繊維卸共同組合が主催して現在に至っています。そのかいあって、原宿で成功したデザイナー、渋谷系の有名店などが、地域にあった激安既製服店を相次いで、ここ

日暮里繊維問屋街に出店してきました。また、そんな激安な小売り繊維街といった良いイメージを、繊維組合宣伝部がテレビ、ラジオ、インターネット、さらにクチコミなど様々な形で紹介しています。





—テレビなどに良く登場するニポカジ—

いっぽう、従来からの生地問屋さんも負けてはいません。オシャレ好きの若者の間では、自分で既製服にひと手間加えるリメイクがはやっていますが、そうしたファッションに敏感な人達の必要とする生地、リボン、レース、毛皮、ボタン、糸などの材料も豊富にそして格安で小売りしています。

ニポカジスタイリスト、ヘイワ堂、ギャル、アーバン OUTLET、ひまわり等々の激安既製服店は、ただ安いだけではなく、ファッションもちゃんと最先端をいっているのが自慢です。そして裁縫とは無縁のギャル達まで、ここ日暮里に吸引しています。



—生地屋さんも、もちろん激安です—



—アクセサリもリメイクに使います—



—皮などの素材も、ここ日暮里で揃います—

更に若い服飾デザイナーが、日暮里に集まってきています。彼らは生地、ボタンなどが安く簡単に手に入るこの繊維街を、次代の“原宿、代官山”と捉えているようです。マスコミによく取り上げられるニポカジスタイリストの経営者は、原宿竹下通りをかつての骨董屋街から最先端ファッションタウンに変貌させた経営コンサルタントとして知られていますが、曰く「日暮里は原宿を超えるファッションタウンになる」と日々檄をとばしています。

ためしに日曜日に立ち寄ってみました。生地問屋さんは、さすがに休日のためシャッターが降りていましたが、問屋街に点在する激安既製服店だけは、人ごみで中に入るの

もためらうほどでした。また、趣味の良さそうなアクセサリ店でも、お客さんが熱心に品定めしていました。そして、中高生、子供の手を引いた奥さん、そして少々年輪を重ねたご婦人まで、まんべんのない客層がとても新鮮でした。若者の原宿と、おばあちゃんの巣鴨を足し合わせた感じです。



お台場で人気のゆりかもめと同じ無人モノレールの走る日暮里舎人線の開業は、昨今の経済情勢から 2008 年まで延期になりました。しかし、そんな雰囲気を感じさせない熱気が、ここ日暮里にはありました。

東京日暮里繊維卸共同組合の年譜をみると、創立、青年部設立、運動会など、東京都鍍金工業組合の戦後の年譜と不思議なほど重なっているのに気づかされま

—ずばりデザイナー様用マンションの看板まで—

す。ただし宣伝部の存在が、小売り主体に転換した繊維組合には、際立っているように見えました。

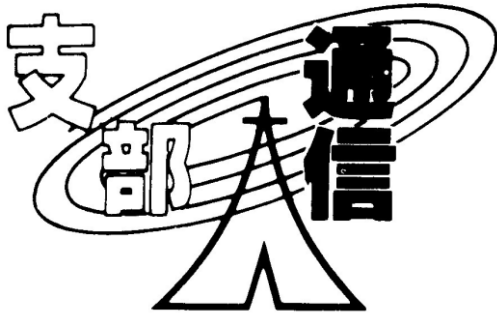
この記事のほとんどは、インターネットの情報を参考にしました。日暮里繊維街をキーワード検索すると、新聞社などのマスメディアのサイトもたくさんヒットしますが、それ以上に個人の開いている日記風ホームページや掲示板での紹介、クチコミ情報が参考になります。

そして、個人だからこそ飾りのないほんとうの情報が、入っているように感じました。こういった素早いクチコミ情報も、インターネットの特徴だと感じ入る今日この頃です。



—日暮里舎人線の工事もいよいよ明治通りまで来ました—

(文 今村和則)



## ■足立支部

### 環境管理強化月間講習会

足立支部（小澤栄男支部長）は、11月28日、中曽根会館において、支部員34社の出席のもと、東京都下水道局北部第二管理事務所業務課長堅多敦子氏、業務課水質規制係長辻登美次氏を迎え、環境管理強化月間に伴う講習会として午後6時30分より行われた。

冒頭、小沢支部長が、「公害防止月間ということで、このような講習会を開催することとなった。多数の支部員の参加が得られて、まことにうれしく思う」と挨拶した。講習会は、まず堅多氏から、一般家庭から油を流さないでほしいと要望があり、続いて辻氏より本題の講習となった。

はじめに、平成12年度の違反状況の報告があり、規制値の関係上鉛の違反が多いという指摘を受けた。次に、違反原因の分類として、うっかりミスの防止、また、違反をゼロにして欲しいとの要望があった。その他、クロロホルム等、6項目の新規規制対象物質については、調査対象事業所を選定し、その排出濃度によって規制値を決定するということがあった。最後に小沢支部長が、「規制の緩い暫定基準値をそのまま規制値にしていただ



くよう、組合本部で働いて、条例が決定する前に交渉している」とのことで、閉会となった。

## ■足立支部

### 顧問相談役会



足立支部（小澤栄男支部長）は、12月18日、西新井大師門前武蔵屋において、午後6時より顧問相談役会を開催した。

はじめに、新年会の打ち合わせをし、その後顧問相談役会に移った。最初に、小沢支部長が、「この景気の悪い中、我々の業界に追い打ちをかけるような厳しい規制値が施行されようとしているが、鍍金組合としても組合員の負担が少しでも軽くなるように各関係機関に働きかけている。そのためには、皆さんの協力が必要だ」と述べた。続いて、瀬田新二顧問、

野澤宗一顧問より挨拶があったが、二人とも現在の景気の悪さおよび今後の動向に対しての懸念をいただいていた。その後、永田吉輝前支部長が乾杯の音頭をとり、宴が始まった。最後に、小島一浩鍍友会会長が締め挨拶として、「来年の新年会も皆様元気に会えますよう」と、三本締めにて閉会した。

## ■足立鍍友会

### 忘年会

足立支部（小澤栄男支部長）の青年部組織である足立鍍友会（小島一浩会長）の忘年会が、12月5日、銀座アスター千住賓館にて、午後7時より総勢17名の参

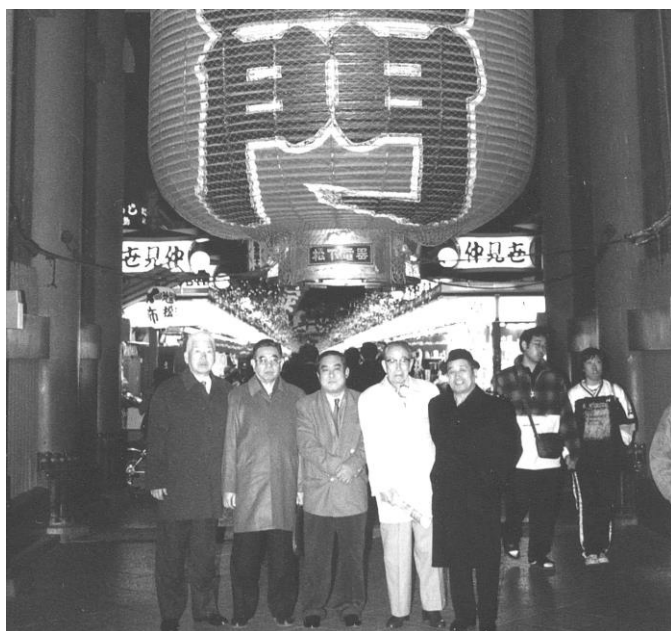
加の下行われた。

冒頭、小島会長が、「得意先の忘年会などでは、厳しい話ばかりであるが、今日は、気のあった仲間同士で日頃の憂さを忘れていただきたい」と挨拶し、続いて、小澤支部長が、「環境問題で排水の規制値が厳しくなっているが、鍍金組合として、出来るだけ規制値を緩和していただくよう努力している」との挨拶があった。その後、石川和男副支部長の乾杯の音頭で宴会が始まった。楽しい時間はとても短く感じられ、あっという間に時間となってしまった。締めの前に、鍍友会OBの長谷川一郎氏より、「久しぶりにあった皆さんがとても元気なので安心した」と述べ、最後に鍍友会OBの菊池浩司氏が、「健康に気をつけてがんばろう」との言葉で閉会した。

## ■中央支部

### 歴代支部長会

去る12月30日恒例の歴代支部長会を例年の通り開催した。参加者は小林徳雄氏、東松国雄氏、内山弘一氏、小平雅俊氏、下平誠現支部長の5名。例年通り午後6時に浅草雷門前に集合、浅草寺を参拝し、仲見世通りの裏にあるレストラン・ボンソアールで懇親会を開き、下平支部長より、支部の経過報告と来年の抱負を語り、顧問方より支部の運営について指摘、話も弾み時間が過ぎ、9時近くに来年こそ良い年でありますようにと願い散会した。



## 協組ニュース

成13年10月施設利用者数75事業所  
 直通電話 03-3743-2256  
 F A X 03-3743-2257

### ☆ 「環境容量」

産業活動にしても、日常生活にしても、人間活動は無限に拡大できるものではなく、環境保全という観点から一定の限界がある。環境容量とは、このような限界を表すもので、環境が受け入れることのできる人間活動又は汚染物質の量とも言える。環境容量の考え方には、次の2つがある。

①環境容量を自然の浄化能力からとらえる考え方。環境中に排出される汚染物質は、人間が何も手を加えなくても、大気や水の拡散能力、水中のバクテリアの分解能力、緑の持つ大気浄化能力などいわゆる自然の力で、ある程度浄化されるものであり、このような自然の浄化能力の限界量を環境容量とする。

②環境容量を汚染の許容限度からとらえる考え方。汚染物質の環境中への排出量が環境基準に照らして算出される環境中に排出できる汚染物質の量を環境容量とする。

**産業廃棄物のご用命は、協組事務局へ Tel 03-3743-2256**

## 環研ニュース

11月2、175成分を分析  
 直通電話 3815-4055  
 F A X 3816-6166

環境科学研究所は、11月中に2、175成分の分析を行いました。

排水問題、作業環境測定等に関して、お困りのことはお気軽にご相談ください。

“排水分析はあなたの工場の健康診断です”

### 1. スラッジ分析数

シアン	クロム	カドミ	鉛	水銀
9	10	8	9	1
ヒ素	その他	前処理		合計
0	9	10		56

### 2. その他排水分析

SS	COD	ヘキサン	全窒素
4	3	4	10
全りん	有機溶剤	その他	合計
7	25	59	112

- 3. クロム酸ミスト測定事業所数 48
- 4. シアン化水素測定事業所数 30
- 5. 有機溶剤測定事業所数 37
- 6. 粉じん測定事業所数 11
- 7. その他 1

### 8. 分析数

	シアン	クロム	重金属	合計
城東支部	15(3)	20(5)	25(3)	60(11)
城西支部	32(5)	29(8)	75(16)	136(29)
城南支部	17(5)	21(5)	55(16)	93(26)
品川支部	27(2)	29(1)	68(2)	124(5)
大田支部	45(6)	40(5)	85(16)	170(27)
城北支部	18(3)	27(3)	53(10)	98(16)
中央支部	16(0)	5(0)	36(0)	57(0)
足立支部	20(0)	28(0)	39(0)	87(0)
葛飾支部	43(3)	37(2)	81(4)	161(9)
向島支部	35(2)	22(2)	64(4)	121(8)
本所支部	5(2)	10(2)	27(12)	42(16)
西部支部	20(4)	21(3)	58(16)	99(23)
賛助会員	2(0)	6(2)	24(16)	32(18)
アクトイター	3(3)	4(3)	32(27)	39(33)
合計	298(38)	299(41)	722(142)	1319(221)

## 東京都産業労働局産業政策部「環境変化の影響調査」結果(抜粋)

経営に及ぼす具体的影響は、全体では『受注・販売量減』が63.4%で圧倒的に高く、次いで『販売単価減』の46.3%、『客数減』の34.4%となっており、この3項目が特に高い。『資金調達難』は4位であるが、比率では16.6%と大きく減少する。

業種別にみると、製造業では「受注・販売量減」が最も高く、次いで「販売単価減」である。3位は「短納期化」の20.9%であり、『客数減』の18.5%を上回っている。卸売業では、「受注・販売量減」が最も高く、以下「販売単価減」「客数減」となっており、全体と同じ傾向である。小売業では、業種の性格から「客数減」が最も高く、次いで『販売単価減』『受注・販売量減』の順となっている。サービス業では『受注・販売量減』が最も高いものの46.4%であり、他の業種に比べて低い。「販売単価減」と『客数減』は同率で2位である。具体的対策としては、全体では「諸経費節減」が66.9%と7割近くを占め最も高い。次いで、「販売促進の強化」の38.2%、「給与の削減」の30.9%、「従業員・パートを減少」の22.9%の順となっている。この傾向は、業種別にほとんど違いがみられない。つまり、業種別に環境変化の影響は異なっているものの、ほぼ同様な対策で対応していることがうかがえる。しかし、規模別には対策は異なっている。「販売促進の強化」や「従業員・パートを減少」は規模が大きくなるほど実施する割合は高くなる。また、同じ人件費対策でも、「従業員・パートを減少」させる余地の少ない小規模では「給与の削減」が31.3%であるのに対して、「従業員・パートを減少」は16.2%であり、「給与の削減」の方が倍近くになっている。

将来最も悪い影響が懸念される環境変化は、全体では「取引先等の倒産」(20.2%)、「安価輸入品の増加」(19.8%)、『大企業の事業再構築』(14.4%)、「米国テロ・空爆関連」(12.3%)などが上位を占めている。現在最も悪い影響を受けている項目と比較すると「安価輸入品の増加」「大企業の事業再構築」「米国テロ・空爆関連」は大きな変化はないものの、「取引先等の倒産」は現在の13.5%の3位から20.2%の1位へと大幅に増えており、都内中小企業は今後取引先等の倒産が増大することを懸念しているといえる。また、「不良債権処理」も現在の6.3%から9.3%へと増加している。一方「狂牛病関連」は7.0%から3.7%へと減少している。

## 編集後記

新聞の年末恒例の1年を振り返ってを見ると、倒産の嵐、国内初の狂牛病、デフレ経済、同時テロ余波、波乱の株式市場、小泉内閣発足、イチロー旋風などが上がっていたが、どちらかといえば暗いニュースが多かったようである。

製造業にとっては産業の空洞化や不況の深刻化などが一番の問題である。中国の人件費は日本の20分の1で競争してもかなわないといわれるが、報道された日中比較をみると人件費ばかりでなく、地価、電気、水道、法人税率などあらゆる面で日本が不利な状況になっている。こうした状況を改善して行くのは容易で

ないことがわかる。

## 広報1月号

印刷 平成14年1月15日  
発行 平成14年1月15日  
(毎月1回20日発行 第35巻第1号)  
発行所 東京都鍍金工業組合  
〒113- 東京鍍金公害防止協同組合  
0034 東京都文京区湯島1-11-10  
Tel03(3814)5621 FAX03(3816)6166  
発行責任者 大村 功作  
編集責任者 木村 秀利  
印刷 スザキ企画 Tel047(338)1222  
〒272-0802 市川市柏井町2-1419-4  
定 価 500 円